

基本目標 2

やさしさを持っていきいきと

暮らせるまちをつくる

《健康福祉》

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	30
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	社会福祉協議会との連携及び支援		
	担当部署名	健康福祉部社会福祉課 厚生班		
	款項目及び予算名	3款1項1目 社会福祉総務費	新市基本計画	
	予算事業名	社会福祉推進事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2-1-1 地域福祉の推進	スマイルプラン	
	施策の方向性	市民一人ひとりが地域で支え合い、いきいきと暮らせるよう、社会福祉協議会や町内会・自治会、民生委員・児童委員、ボランティア、学校等と連携しながら、声かけ・見守りや、ボランティア活動など地域福祉活動を促進し、支え合いのネットワークを強化していきます。		
事業内容等	事業年度	昭和52年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	地域福祉を推進するため、社会福祉協議会との連携、支援を行う。		
	対象	社会福祉協議会		
	根拠法令・関連計画等	印西市地域福祉計画、地域福祉活動計画		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	・社会福祉協議会への支援 ・地域福祉計画と地域福祉活動計画との連携	社会福祉協議会策定の地域福祉活動計画との連携・協働により、町内会・自治会、民生委員・児童委員、ボランティア、学校等が主体的に関わり又は参加し、地域福祉を推進することができた。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度		積算額 (当初予算額)					33,000,000
		予算現額					33,000,000	33,000,000
		決算額					33,000,000	33,000,000

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	連携事業	件	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1
			目標値				
			実績値				
成果指標	福祉ボランティア登録者数	人	目標値	1,300	1,370	1,440	1,500
			実績値	1,259	1,199	1,213	1,196
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	成果目標に対し、ボランティア登録者実績がやや下回った。
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	成果指標のボランティア登録者数は目標値を下回っているが、社会福祉協議会では平成28年2月ボランティア連絡協議会の発足に側面支援するなど、地域福祉の推進につながっている。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	社会福祉協議会は、行政、地域住民及び関係団体と協働して地域福祉活動の推進を図る事を目的とする、地域を代表する公共性の高い団体であることから、地域福祉の中核的役割を果たしていただくため、職員の資質の向上、地域住民のくらしの課題解決を目指し福祉サービスの向上に努めてもらえるよう市として支援していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	31
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	地域福祉づくりの推進	
	担当部署名	健康福祉部社会福祉課 厚生班	
	款項目及び予算名	3款1項1目 社会福祉総務費	新市基本計画
	予算事業名	社会福祉総務事務に要する経費	主要事業
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 1 地域福祉の推進	スマイルプラン
	施策の方向性	市民一人ひとりが地域で支え合い、いきいきと暮らせるよう、社会福祉協議会や町内会・自治会、民生委員・児童委員、ボランティア、学校等と連携しながら、声かけ・見守りや、ボランティア活動など地域福祉活動を促進し、支え合いのネットワークを強化していきます。	
事業内容等	事業年度	平成24年度～平成28年度	
	事業の実施目的及び概要	印西の地域福祉づくりを積極的に推進するため、特に力を入れて以下の2点のプロジェクトに取り組む。 (1)地域円卓会議推進プロジェクト (2)災害時要援護者支援プロジェクト	
	対 象	市民、各種団体、事業者等	
	根拠法令・関連計画 等	印西市第2次地域福祉計画	
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域円卓会議の実施 ・災害時等要援護者支援ネットワークづくり ・活動の拠点づくり ・相談と情報の窓口づくり ・第3次地域福祉計画の策定 	第2次地域福祉推進委員会を開催し計画の進捗管理を実施するとともに第3次地域福祉計画策定に向けて策定委員会を開催した。 災害時要援護者避難支援ネットワークづくりについて、継続して取り組んだ。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)						283,000
予算現額							1,213,000	1,213,000
決算額							944,400	944,400

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	地域円卓会議の設置数(累計)	地区	目標値	6	8	8	8
			実績値	6	6	6	6
	地域福祉推進委員会の設置		目標値		1	1	1
			実績値		1	1	1
成果指標	地域円卓会議の実施件数	地区	目標値	6	6	6	6
			実績値	1	0	0	0
	地域福祉推進委員会の実施件数	回	目標値		1	2	2
			実績値		1	1	1

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	地域円卓会議の実施が無かったことから、目標値を下回った。
総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	地域円卓会議の実施は無かったが、地域福祉計画に基づき地域福祉の推進を図った。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
2 事業を見直す	地域円卓会議の見直しを検討する。 また、社会福祉協議会や関係機関と連携し、地域福祉計画に基づき地域福祉のネットワークを強化していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	32
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	民生委員児童委員活動の支援等	
	担当部署名	健康福祉部社会福祉課 厚生班	
	款項目及び予算名	3款1項1目 社会福祉総務費	新市基本計画
	予算事業名	民生委員児童委員に要する経費	主要事業
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 1 地域福祉の推進	スマイルプラン
	施策の方向性	市民一人ひとりが地域で支え合い、いきいきと暮らせるよう、社会福祉協議会や町内会・自治会、民生委員・児童委員、ボランティア、学校等と連携しながら、声かけ・見守りや、ボランティア活動など地域福祉活動を促進し、支え合いのネットワークを強化していきます。	
事業内容等	事業年度		
	事業の実施目的及び概要	民生委員・児童委員の活動が円滑に行われるよう、各種福祉情報の提供や実費弁償としての活動費の支給などの支援を行う。	
	対 象	民生委員・児童委員	
	根拠法令・関連計画 等	民生委員法、児童福祉法	
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	・民生委員・児童委員活動の支援	地域住民の実態把握、見守りカード作成等を行うための情報提供などの支援を行った。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)			381,000			7,854,000
予算現額				381,000			7,854,000	8,235,000
決算額				381,000			7,116,038	7,497,038

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	民生・児童委員数	人	目標値	132	139	139	139
			実績値	122	121	127	128
			目標値				
			実績値				
成果指標	民生・児童委員活動件数	件	目標値	2,500	2,700	3,000	3,000
			実績値	2,088	1,422	1,499	1,482
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	目標値に対する実績値は下回ったが、前年度とほぼ同数値となっている。
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	成果指標の活動件数は目標値を下回っているが、民生・児童委員は、地域福祉の担い手として個々の相談に応じ、課題の解決にあたっている。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	社会福祉協議会、民生委員・児童委員等と連携を図り、声かけ・見守りやボランティア活動など地域福祉活動を促進し、支えあいのネットワークを強化していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	33
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	生活保護者への支援		
	担当部署名	健康福祉部社会福祉課 保護班		
	款項目及び予算名	3款4項1目 生活保護総務費 / 3款4項2目 扶助費	新市基本計画	
	予算事業名	生活保護事業に要する経費 / 生活保護扶助事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 2 社会保障制度の充実	スマイルプラン	
	施策の方向性	誰もが健康的かつ文化的な生活を営めるよう、国民年金制度や生活保護制度など社会保障制度の普及啓発と適切な運用を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成8年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	生活保護法に基づき、困窮状況に応じた金銭又は現物給付により、最低生活の保障と経済的社会的自立を支援する。		
	対象	生活保護受給世帯		
	根拠法令・関連計画等	生活保護法		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・各種扶助の給付 ・経済的社会的自立の支援 (自立支援プログラム等活用)	生活保護法に基づき、生活困窮状況にあった扶助及び経済的社会的自立支援を行った。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
			平成27年度	積算額 (当初予算額)	489,471,000	25,887,000		
		予算現額	490,785,000	25,887,000			149,139,000	665,811,000
		決算額	480,525,624	28,130,316			113,653,886	622,309,826

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	生活保護世帯数	世帯	目標値	250	250	250	250	
			実績値	231	234	243	276	
	面接相談件数	件	目標値	240	240	240	240	
			実績値	272	243	183	119	
訪問件数	件	目標値	700	700	700	700		
		実績値	1,047	1,258	1,190	1,141		
成果指標	生活保護からの自立世帯数	世帯	目標値	5	5	5	5	
			実績値	5	5	6	8	
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	平成27年4月から生活困窮者自立支援法に基づく、包括的な相談支援等を実施したことにより相談件数が減少したと考えられる。
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	今後も生活保護法に基づき、生活困窮の状況に合わせた扶助及び経済的社会的自立支援を行う。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	34
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	生活困窮者自立への支援		
	担当部署名	健康福祉部社会福祉課 保護班		
	款項目及び予算名	3款1項1目 社会福祉総務費	新市基本計画	
	予算事業名	生活困窮者自立支援事業に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 2 社会保障制度の充実	スマイルプラン	
	施策の方向性	生活保護に至る前の生活困窮者に対して自立対策の強化を図り、生活困窮者自立支援制度の普及啓発と適切な運用を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成27年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	生活困窮者自立支援法に基づき、現に、経済的に困窮し、最低限の生活を維持することができなくなるおそれのある者に対して、自立に向けた支援をする。		
	対象	現に、経済的に困窮し、最低限の生活を維持することができなくなるおそれのある者		
	根拠法令・関連計画等	生活困窮者自立支援法		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	生活困窮者自立支援	生活困窮者支援法に基づき、本人の状況に応じた包括的な相談支援等により経済的社会的自立の支援を行った。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
			積算額 (当初予算額)	19,776,000				
	平成27年度	予算現額	15,897,000				8,532,000	24,429,000
		決算額	19,852,000				4,226,763	24,078,763

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	自立相談支援件数	件	目標値				300
			実績値				131
			目標値				
			実績値				
成果指標	生活困窮からの自立世帯数	件	目標値				20
			実績値				27
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	D 目標値を下回る	平成27年度から生活困窮者自立支援法の基づく支援を開始したものであるが支援目標値に対し実績値が大きく下回った。
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	今後も生活困窮者自立支援法に基づき、包括的な相談支援等を実施により経済的社会的自立支援を行う。また、生活困窮者の支援につながるよう事業周知に努める。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	35
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	年金相談事業		
	担当部署名	市民部国保年金課 後期高齢者年金班		
	款項目及び予算名	3款5項1目 国民年金総務費	新市基本計画	
	予算事業名	国民年金事務に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 2 社会保障制度の充実	スマイルプラン	
	施策の方向性	誰もが健康的かつ文化的な生活を営めるよう、国民年金制度や生活保護制度など社会保障制度の普及啓発と適切な運用を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成14年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	相談業務として、年金等の請求手続き、必要書類の指導、年金見込み額の試算、被保険者期間の調査を実施する。		
	対象	20歳以上の市民(被保険者・受給者)		
	根拠法令・関連計画等	国民年金法		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	相談業務の実施(年間8回開催) 広報活動の実施(随時)	相談件数27件 年金事務所へ出向けない人への利便が図られた。また、事前に相談内容を確認し、その詳細情報を調査しておくことにより当日スムーズな相談を行った。広報紙に12回、年金相談開催月の案内のポスターの掲示及びホームページへ掲載し広報活動の充実を図った。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		平成27年度	積算額 (当初予算額)					80,000
	予算現額						80,000	80,000
	決算額						80,000	80,000

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	相談回数	回	目標値	10	8	8	8	
			実績値	8	8	8	8	
	広報掲載等による年金制度の充実	回	目標値	12	12	12	12	
			実績値	12	12	12	12	
成果指標	相談者数	人	目標値	80	64	64	64	
			実績値	33	26	39	27	
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	本庁及び各支所ともに相談件数が伸びず、目標値には及ばなかった。
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	日本年金機構では年金相談センターや年金事務所での相談体制が整っているため相談者数は下回ったが、年金事務所等への出向けなかった人への利便性が図られた。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
2 事業を見直す(縮小)	開催日数の縮小を図りつつも、相談事業を継続していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	36
------	----

1. 事業の概要

事業名及び担当部署等	実施計画事業名	保育園運営事業		
	担当部署名	健康福祉部保育課 保育班		
	款項目及び予算名	3款3項4目 保育所費	新市基本計画	
	予算事業名	保育園運営に要する経費 / 民間保育園の助成に関する経費	主要事業	
基本計画における位置付け	関連する施策名	2 - - 1 子育て支援の充実	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	市民が安心して子どもを出産子育てしていけるよう、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づくりを進めていくとともに、経済的、精神的負担の軽減など子育て家庭への適切な支援を進めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成17年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	延長保育・一時保育・病児病後児保育などの各種保育サービスの充実を図り、働きながら子育てをしている家庭への支援を図る。また、(仮称)幼稚園・保育園運営基本方針の策定により、中長期的な保育施策の方向性を示し、幼保一体化なども踏まえた施設の適正な配置及び運営を進めるなど、待機児童ゼロを目指す。		
	対象	保育を必要とする保護者と就学前児童		
	根拠法令・関連計画等	児童福祉法、次世代育成支援対策交付金要綱、保育対策等促進事業実施要綱、子ども・子育て支援法、保育対策等促進事業費補助金交付要綱、印西市次世代育成支援行動計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> 家庭的保育事業の実施 待機児童ゼロを目指した取り組みの検討・実施 各種保育サービス(延長保育・一時保育・病児病後児保育など)の実施 木下駅圏の幼稚園・保育園の統合(施設設計及び事業者選定) 公立保育園への指定管理者制度導入の検討 子ども・子育て会議の運営 子ども・子育て支援事業計画の推進 認可外保育施設通園者に対する補助の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭的保育事業の実施(ここにこルーム原山・平成27年10月まで) ヒューマンアカデミー印西牧の原保育園の開園(定員40名・平成27年4月開園) しおん保育園分園中央保育園の開園(定員27名・平成27年4月開園) 各種保育サービス(延長保育・一時保育・病児病後児保育など)の実施 武西地区及び戸神地区への認可保育園新設(平成28年4月開園予定)の協議 木下駅圏の幼稚園・保育園の統合(造成工事・平成27年9月及び事業者選定・平成27年12月) 子ども・子育て会議の開催(6回) 子ども・子育て支援事業計画の推進 認可外保育施設通園者に対する補助の検討 	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計	
	平成27年度	積算額 (当初予算額)		339,163,000	515,782,000		280,852,000	525,779,000	1,661,576,000
		予算現額		383,434,000	499,106,000		281,554,000	510,289,326	1,674,383,326
決算額			370,269,320	450,999,123		287,381,723	477,775,519	1,586,425,685	

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	年度末保育園入園者数	人	目標値	1,370	1,370	1,370	1,370
			実績値	1,316	1,383	1,519	1,618
			目標値				
			実績値				
成果指標	年度末保育園入園保留児童数	人	目標値	40	20	10	0
			実績値	202	276	159	182
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	D 目標値を下回る	平成26年度に認可保育園2園が新設されたが、前年度からの入園保留児童数が多かったこともあり、目標値までには及ばなかった。
総合的な評価	D 計画を下回る事業実績・成果であった	入園保留児童が多く発生したため。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
2 事業を見直す(拡大)	千葉ニュータウン区域を中心とした今後の住宅新規分譲の動向も踏まえ、特に保育需要の急増が見込まれる千葉ニュータウン中央駅圏に民間事業者による認可保育園新設を進め、保育の受け皿拡大を図る。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	37
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	印旛高校跡地幼保一体型施設整備事業		
	担当部署名	健康福祉部保育課 保育班		
	款項目及び予算名	3款3項4目 保育所費	新市基本計画	
	予算事業名	印旛高校跡地幼保一体型施設整備事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 1 子育て支援の充実	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	市民が安心して子どもを出産し育てていけるよう、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づくりを進めていくとともに、経済的、精神的負担の軽減など子育て家庭への適切な支援を進めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成26年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	公立保育園2園(大森保育園・木下保育園)及び公立幼稚園1園(大森幼稚園)を統合し、印旛高校跡地に民設民営の幼保一体型施設(認定こども園)を新設する。		
	対象	幼保一体型施設を新設・運営する事業者		
	根拠法令・関連計画等	児童福祉法、子ども・子育て支援法、子ども・子育て支援事業計画(平成27年度以降)		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度		・用地造成工事の実施 ・運営事業者の選定	・用地造成工事の実施(幼保一体型施設用地保全工事実施 平成27年9月) ・運営事業者の選定(印旛高校跡地幼保連携型認定こども園設置運営事業者選定委員会において事業候補者(学校法人石神学園)を選定 平成27年12月)

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	予算現額					15,952,000	15,952,000
		決算額					14,787,000	14,787,000

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	事業者選定進捗率	%	目標値				100
			実績値				100
		目標値					
		実績値					
成果指標		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	公立保育園2園(大森保育園・木下保育園)及び公立幼稚園1園(大森幼稚園)を統合し、印旛高校跡地に民設民営の幼保一体型施設(認定こども園)を新設する。 このことにより、市民が安心して子どもを出産し育てていけるよう、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づくりを進めていくとともに、経済的、精神的負担の軽減など子育て家庭への適切な支援を進めていきます。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	38
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	認可外保育施設認可化移行支援事業	
	担当部署名	健康福祉部保育課 保育班	
	款項目及び予算名	3款3項4目 保育所費	新市基本計画
	予算事業名	認可外保育施設認可化移行支援事業	主要事業
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 1 子育て支援の充実	スマイルプラン スマイル2
	施策の方向性	市民が安心して子どもを出産し育てていけるよう、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づくりを進めていくとともに、経済的、精神的負担の軽減など子育て家庭への適切な支援を進めていきます。	
事業内容等	事業年度	平成26年度から実施	
	事業の実施目的及び概要	認可保育園への移行を希望する認可外保育施設に対して、移行にあたって必要となる経費等の補助を行う。	
	対 象	認可化移行を希望する認可外保育施設	
	根拠法令・関連計画 等	児童福祉法、子ども・子育て支援法、子ども・子育て支援事業計画(平成27年度以降)	
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	運営費支援の実施	・認可保育園への移行を希望する認可外保育施設 Rainbow Wings International Nursery & Preschoolに対し、印西市認可外保育施設認可化移行支援事業補助金を交付した

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)		11,997,000	5,998,000			5,998,000
予算現額			12,788,000	5,997,000			5,208,000	23,993,000
決算額			11,996,000	5,263,000			3,797,000	21,056,000

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	認可保育園設置認可手続き進捗率	%	目標値				0
			実績値				0
			目標値				
			実績値				
成果指標	補助対象施設の年度末在園児数(保育を必要とする児童数)	人	目標値				35
			実績値				35
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	F 計画なし(当年度活動予定なし)	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	認可保育園への移行を希望する認可外保育施設に対して、移行にあたって必要となる経費等の補助を行う。 このことにより、市民が安心して子どもを出産し育てていけるよう、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づくりを進めていくとともに、経済的、精神的負担の軽減など子育て家庭への適切な支援を進めていきます。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	39
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	保育園施設整備改修事業		
	担当部署名	健康福祉部保育課 管理班		
	款項目及び予算名	3款3項4目 保育所費	新市基本計画	
	予算事業名	保育園施設改修事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 1 子育て支援の充実	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	市民が安心して子どもを出産し育てていけるよう、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づくりを進めていくとともに、経済的、精神的負担の軽減など子育て家庭への適切な支援を進めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成18年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	良好な保育環境を確保するため、老朽化した保育園施設の計画的な改修整備を推進する。		
	対象	公立保育園		
	根拠法令・関連計画等	印西市次世代育成支援行動計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	西の原保育園改修工事	老朽化した西の原保育園の大規模改修工事を実施することによって、良好な保育環境を整備することができた。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					76,330,000	76,330,000
		予算現額					74,801,000	74,801,000
		決算額					72,283,320	72,283,320

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	改修工事の実施数	園	目標値	4	4	4	5
			実績値	4	4	4	5
			目標値				
			実績値				
成果指標	改修工事の実施率 (実数 / 公立保育園数 (7園) × 100)	%	目標値	57	57	57	71
			実績値	57	57	57	71
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	今後も計画的に改修を進めていく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	40
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	放課後児童健全育成事業		
	担当部署名	健康福祉部保育課 管理班		
	款項目及び予算名	3款3項5目 児童福祉施設費	新市基本計画	
	予算事業名	学童クラブに要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 1 子育て支援の充実	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	市民が安心して子どもを出産し育てていけるよう、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づくりを進めていくとともに、経済的、精神的負担の軽減など子育て家庭への適切な支援を進めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成17年度から実施 平成17年11月1日から公設公営		
	事業の実施目的及び概要	就労等により昼間保護者等監護する者がいない家庭の児童の健全育成を図るため、授業の終了した放課後及び長期休業その他学校休業日、土曜日において、家庭にかわる適切な遊び及び生活の場を提供する。		
	対象	市内の小学校に就学中の児童であって、その保護者が就労等により昼間家庭にいない児童		
	根拠法令・関連計画等	児童福祉法、印西市次世代育成支援行動計画、印西市子ども・子育て支援事業計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	学童クラブの実施及びサービス充実の検討 民間学童クラブへの補助の実施(船穂小学校区) 六合学童クラブの指定管理者選定(継続) 指定管理者制度の検討・実施(木下学童クラブ(印旛高校跡地))	しおん学童クラブへの補助金を交付することにより、児童受け入れ拡大を図ることができた。 また、平成28年4月に木下交流の杜広場に開所する木下学童クラブ及び平成28年3月で指定管理の期間を終了する六合学童クラブの指定管理者の選定を行った。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
平成27年度		予算現額	8,179,000	8,179,000			31,201,000	47,559,000
		決算額	8,179,000	8,179,000			29,604,625	45,962,625

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	学童保育実施箇所数	箇所	目標値	18	18	19	20
			実績値	18	19	20	22
	入所定員数	人	目標値	740	740	785	825
			実績値	775	855	870	960
成果指標	入所児童数	人	目標値	590	590	620	660
			実績値	650	751	774	805
	入所待機児童数	人	目標値	0	0	0	0
			実績値	32	16	9	9
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	
総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	学童施設数が増加したことにより、入所可能児童数は多くなったが、人口が増加している地区の入所希望児童数が多かったため、待機児童の解消には至らなかった。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
2 事業を見直す(拡大)	民間学童クラブの開所を推進し、学童クラブの充実を図っていくとともに、児童の適切な遊び及び生活の場を提供する。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	41
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	学童クラブ施設整備事業		
	担当部署名	健康福祉部保育課 管理班		
	款項目及び予算名	3款3項5目 児童福祉施設費	新市基本計画	
	予算事業名	学童クラブ施設整備事業、(仮称)21住区学童保育施設整備事業、 印旛高校跡地学童保育施設整備事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 1 子育て支援の充実	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	市民が安心して子どもを出産子育てしていけるよう、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づくりを進めていくとともに、経済的、精神的負担の軽減など子育て家庭への適切な支援を進めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成26年度から実施(事業分割)		
	事業の実施目的及び概要	学童クラブへのニーズの高まりに対応するため、計画的に学童クラブの整備を図るとともに、安全で快適な保育環境を確保するため、老朽化した学童クラブの計画的な改修を実施する。		
	対象	学童クラブ未設置校、待機児童発生学童クラブ、印西市立学童クラブ		
	根拠法令・関連計画等	児童福祉法、印西市子ども・子育て支援事業計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	木下学童クラブ(印旛高校跡地)の新設 原第3学童クラブの新設の検討	木下交流の杜広場内(印旛高校跡地)に老朽化した木下学童クラブを 新築し、良好な保育環境を整備することができた。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計	
	平成27年度	積算額 (当初予算額)	20,900,000					38,063,000	58,963,000
		予算現額	20,900,000					38,063,000	58,963,000
		決算額	16,700,000					38,067,433	54,767,433

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	整備等工事実施数	箇所	目標値	0	0	3	1
			実績値	0	0	3	1
			目標値				
			実績値				
成果指標	学童クラブ数	箇所	目標値	18	19	20	22
			実績値	18	19	20	22
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	今後も計画的に改修等を行っていく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	42
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	児童手当の給付		
	担当部署名	健康福祉部子育て支援課 児童家庭班		
	款項目及び予算名	3款3項2目 児童措置費	新市基本計画	
	予算事業名	児童手当給付事業、子ども手当給付事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 1 子育て支援の充実	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	市民が安心して子どもを出産し育てたいけるよう、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づくりを進めていくとともに、経済的、精神的負担の軽減など子育て家庭への適切な支援を進めていきます。		
事業内容等	事業年度	昭和46年度から実施(平成22年度から平成23年度は子ども手当)		
	事業の実施目的及び概要	児童を養育している人に手当を支給する事により、家庭における生活の安定と次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上を図る。		
	対 象	中学校3年生までの子ども		
	根拠法令・関連計画 等	児童手当法		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	児童手当の支給	児童手当の支給により、子育て家庭の経済的負担の軽減が図れた。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
			平成27年度	積算額 (当初予算額)	1,104,232,000	238,804,000		0
		予算現額	1,111,124,000	240,548,000		0	241,897,000	1,593,569,000
		決算額	1,109,663,664	241,976,331		230,000	239,588,793	1,591,458,788

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	児童手当申請件数	件	目標値	12,000	12,000	12,000	12,000
			実績値	12,223	12,273	12,290	12,582
			目標値				
			実績値				
成果指標	児童手当支給件数	件	目標値	12,000	12,000	12,000	12,000
			実績値	12,223	12,273	12,290	12,582
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	今後とも国の制度のもと、支給を継続していく。引き続き、児童手当の制度・手続きについての周知、現況届未提出者への催告を行っていく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	43
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	子ども医療費助成事業		
	担当部署名	健康福祉部子育て支援課 児童家庭班		
	款項目及び予算名	4款1項4目 母子衛生費	新市基本計画	
	予算事業名	子ども医療費助成事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 1 子育て支援の充実	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	市民が安心して子どもを出産子育てしていけるよう、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づくりを進めていくとともに、経済的、精神的負担の軽減など子育て家庭への適切な支援を進めていきます。		
事業内容等	事業年度	昭和61年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	中学校3年生までを対象に医療費・調剤費及び診療・調剤報酬証明手数料の一部を助成することにより、子どもの保健対策の充実及び保護者の経済的負担の軽減を図る。		
	対象	中学校3年生までの医療保険加入中の子ども		
	根拠法令・関連計画等	千葉県子ども医療助成事業補助金交付要綱、印西市子ども医療費助成規則		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	医療費等の助成	医療費等を助成したことにより、子どもの保健対策の充実及び子育て世帯の経済的負担の軽減が図れた。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
			平成27年度	積算額 (当初予算額)		114,022,000		1,200,000
		予算現額		117,610,000		1,200,000	302,478,535	421,288,535
		決算額		117,174,000		2,455,143	300,778,121	420,407,264

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	子ども医療費助成事業の周知(広報への掲載)	回	目標値	3	3	3	3
			実績値	7	8	5	7
	対象者数	人	目標値	14,242	15,000	15,000	15,000
			実績値	14,242	14,613	14,778	15,288
成果指標	一人あたりの平均単価	円	目標値	17,805	17,805	17,805	17,805
			実績値	17,805	23,319	23,968	24,301
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	子育て支援の充実を図る施策としては有効であるため、引き続き医療機関の適正受診の啓発やジェネリック医薬品の活用推進を図りつつ、円滑かつ確実に助成を実施していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	44
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	子育てヘルプサービス事業		
	担当部署名	健康福祉部子育て支援課 子育て支援班		
	款項目及び予算名	3款3項1目 児童費福祉総務費	新市基本計画	
	予算事業名	子育てヘルプサービス事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 1 子育て支援の充実	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	市民が安心して子どもを出産し育てていけるよう、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づくりを進めていくとともに、経済的、精神的負担の軽減など子育て家庭への適切な支援を進めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成18年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	小学生以下の児童がいる世帯(産前、産後、傷病、冠婚葬祭等)に一時的に家事、育児等の支援が必要な世帯にホームヘルパーを派遣することにより、保護者と児童の生活の安定を図り、ゆとりある子育てを支援する。		
	対 象	市内に居住し、かつ、在宅している小学生以下の児童がいる世帯		
	根拠法令・関連計画 等	印西市次世代育成支援行動計画		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	ホームヘルパーの派遣	ホームヘルパーを派遣し家事、育児の支援を行い、生活の安定を図ることができた。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	予算現額				271,000	1,767,000	2,038,000
		決算額				189,300	1,517,829	1,707,129

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	子育てヘルプサービス利用件数	件	目標値	25	30	35	40
			実績値	26	42	67	77
			目標値				
			実績値				
成果指標	利用者アンケート実施件数	件	目標値	25	30	35	40
			実績値	0	19	29	31
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	実人数が目標を下回った。
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
2 事業を見直す(拡大)	H28年度より利用日を土曜日までに拡大し、子育て家庭への支援を行っていく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	45
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	ファミリーサポートセンター事業		
	担当部署名	健康福祉部子育て支援課 子育て支援班		
	款項目及び予算名	3款3項1目 児童福祉総務費	新市基本計画	
	予算事業名	ファミリーサポートセンター事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 1 子育て支援の充実	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	市民が安心して子どもを出産し育てていけるよう、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づくりを進めていくとともに、経済的、精神的負担の軽減など子育て家庭への適切な支援を進めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成19年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	育児の援助を行いたい者と育児の援助を受けたい者からなる会員組織として「ファミリーサポートセンター」を設立し、会員同士が育児に関する相互援助活動を行うことを支援する事業を実施することにより、仕事と育児を両立できる環境を整備する。		
	対象	ファミリーサポートセンター会員(市内に住所を有し(市内勤務も含む)、利用会員は、生後6か月から小学校6年生までの子どもを有し同居している者提供会員は、心身ともに健康で積極的に援助活動を行うことができる者)		
	根拠法令・関連計画等	児童福祉法第21条の27、児童福祉法施行規則第21条の19・印西市次世代育成支援行動計画		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	・事業の実施 ・会員の募集 ・会員対象の研修の実施	・育児の援助を行いたい者と育児の援助を受けたい者が会員となり、会員同士相互援助活動としての取り組みが図れた。 ・事業の周知を図り会員の確保に努めた。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
			平成27年度	積算額 (当初予算額)	1,109,000	1,109,000		
		予算現額	1,109,000	1,109,000			1,111,000	3,329,000
		決算額	1,109,000	1,066,000			1,066,853	3,241,853

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	周知件数	件	目標値	350	400	450	500
			実績値	443	495	547	591
	提供会員数	人	目標値	125	150	175	200
			実績値	73	83	88	89
利用会員数	人	目標値	225	250	275	300	
		実績値	321	362	406	446	
成果指標	利用件数	件	目標値	1,100	1,200	1,300	1,400
			実績値	804	1,130	1,055	839

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	継続して利用するケースが少なくなった。
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	事業の周知と会員を確保し、提供体制の充実を図り利用者の多様なニーズに対応できる体制を整えていく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	46
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	特定不妊治療費助成事業		
	担当部署名	健康福祉部健康増進課 母子保健班		
	款項目及び予算名	4款1項4目 母子衛生費	新市基本計画	
	予算事業名	(地方創生)特定不妊治療費助成事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 1 子育て支援の充実	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	市民が安心して子供を出産子育てしていけるよう、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づくりをすすめていくとともに、経済的、精神的負担の軽減など子育て家庭への適切な支援を進めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成27年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、高額な医療費のかかる、配偶者間の体外受精・顕微授精に要する経費である特定不妊治療費の一部を助成する。		
	対 象	5つの要件を満たしている方 1. 本人及び配偶者が、申請日において住民基本台帳法に基づく本市の住民基本台帳に1年以上記載されていること 2. 戸籍上夫婦であること 3. 申請日において、本人及び配偶者に印西市税の滞納がないこと 4. 千葉県特定不妊治療費助成事業の交付決定を受けていること 5. 千葉県に提出する「特定不妊治療受診等証明書」において、「今回の治療期間」の開始日が平成27年4月1日以降になっていること		
	根拠法令・関連計画 等	印西市特定不妊治療費助成実施要綱、千葉県特定不妊治療費助成実施規則、母子保健医療対策等総合支援事業実施要綱、子ども子育て支援法、第2次健康いんざい121(印西市健康増進・食育推進計画)・子ども子育て支援事業計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・特定不妊治療費用の一部助成 補助率…千葉県特定不妊治療費助成決定額を差し引いた自己負担金額の1/2補助 (限度額 7万5千円) ・パンフレット等による事業の周知	・申請者数 58件 ・周知 パンフレット配布数 各種窓口1000部、市広報6月号、市ホームページ	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計	
	平成27年度	積算額 (当初予算額)		5,354,000				1,504,000	6,858,000
		予算現額		5,354,000				1,504,000	6,858,000
		決算額		3,176,880				59,000	3,235,880

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	治療を実施した夫婦数(延数)	組	目標値				62
			実績値				58
			目標値				
			実績値				
成果指標	妊娠した夫婦数(実数)	組	目標値				25
			実績値				14
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	千葉県及び印旛健康福祉センター(保健所)からの案内もあり、申請数が順調に伸びた。平成28年1月から千葉県が男性不妊治療費について拡充して助成を行うにあたり、新年度から対応に向けて検討する。また、助成金額は上限額の75,000円は31件と全体の53.4%であった。
成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	治療後の効果については、個人差の範囲と考えるが、申請数全体が増えることで、妊娠の機会が増えるものと考えられる。また、妊娠に至らなかった場合の医療機関以外での相談窓口について案内を行っていくことも必要である。
総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	今回の申請者の中には、第2子・第3子を希望する方もみられたことから、周知用パンフレットを子育て支援センターや保育園等にも設置することで、より多くの方へ制度の周知を図ることができると考える。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
2 事業を見直す(拡大)	千葉県の助成対象者拡大に伴い、市でも男性不妊治療費助成に対応できるように6月補正予算を組み、対応していく。 また、周知用パンフレットの設置範囲を広げてより多くの方に周知する。

平成27年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	47
1. 事業の概要				
事業名及び担当部署等	実施計画事業名	ひとり親家庭等支援事業		
	担当部署名	健康福祉部子育て支援課 児童家庭班		
	款項目及び予算名	3款3項3目 母子福祉費	新市基本計画	
	予算事業名	ひとり親家庭等支援事業、ひとり親家庭等医療費助成事業		主要事業
基本計画における位置付け	関連する施策名	2 - - 1 子育て支援の充実	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	市民が安心して子どもを出産子育てしていけるよう、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づくりを進めていくとともに、経済的、精神的負担の軽減など子育て家庭への適切な支援を進めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成20年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	ひとり親家庭等に対し、相談体制として母子自立支援員を設置・ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金の助成・ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等の助成・ひとり親家庭等医療費等の助成を実施することにより、ひとり親家庭等の自立支援及び福祉の向上を図る。		
	対象	母子家庭の母、父子家庭の父、父母のいない児童の扶養義務者		
	根拠法令・関連計画等	印西市母子・父子自立支援員設置規則、印西市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例・同施行規則、印西市ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金の支給に関する要綱、印西市ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等の支給に関する要綱		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・相談体制として母子・父子自立支援員を設置 ・ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金の助成 ・ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等の助成 ・ひとり親家庭等医療費等の助成	ひとり親家庭等に対し、母子・父子自立支援員による相談業務やひとり親家庭自立支援教育訓練給付金・ひとり親家庭高等職業訓練促進費給付金・ひとり親家庭等医療費等の助成を行う事により、不安や悩みの軽減が図られた。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)		4,081,000	4,301,000		0	8,635,000
予算現額			4,081,000	4,301,000		0	8,635,000	17,017,000
決算額			1,521,000	3,726,917		101,167	5,749,191	11,098,275

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	事業の周知(広報への掲載)	回	目標値	6	6	8	8
			実績値	2	2	14	14
	母子自立支援員による相談事業実施日数	日	目標値	284	284	284	284
			実績値	221	150	284	243
成果指標	母子自立支援員への相談延人数	人	目標値	350	350	350	350
			実績値	221	150	284	243
	ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金・ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等の助成の利用者	件	目標値	6	6	6	6
			実績値	7	6	2	2
	ひとり親家庭等医療費等の助成件数	件	目標値	2,760	2,760	2,760	2,760
			実績値	2,368	2,577	2,615	2,804

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	制度の周知方法の見直しを検討する。
成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	
総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	広報、ホームページ等による制度の周知方法を見直し、情報提供の充実を図りひとり親家庭の自立支援に努める。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	48
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	家庭児童相談事業		
	担当部署名	健康福祉部子育て支援課 子育て支援班		
	款項目及び予算名	3款3項1目 児童福祉総務費	新市基本計画	
	予算事業名	家庭児童相談等に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 2 親と子の健やかな成長の支援	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	地域の中で不安や悩みなく楽しく子育てできるよう、また子どもたちが心身ともに健やかに成長するよう、子育てに関する相談・助言等の体制の強化を図っていくとともに、身近な地域で子育て中の親同士が情報交換を行い仲間づくりができる場の提供を進めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成8年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	子育てへの不安や悩みを軽減及び児童の心の痛みを理解し、いじめや不登校及び児童虐待の減少につながるよう、家庭における人間関係の健全化及び適正な養育等家庭児童の福祉に関する相談及び指導の充実強化を図る。		
	対象	18歳までの児童について養育上の諸問題を持つ家庭		
	根拠法令・関連計画等	児童福祉法		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・家庭相談員による相談業務の実施(電話、面接、訪問) ・状況に応じた緊急受理会議、ケース会議の実施	・相談業務を通して子育てへの不安や悩みの軽減を図ることができた。 ・関係機関とのケース会議を行うことにより、情報共有し支援に努めた。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)						2,514,000
予算現額							2,514,000	2,514,000
決算額							2,092,614	2,092,614

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	家庭相談室の周知(相談室の広報掲載)	回	目標値	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	12
	家庭相談室の周知(チラシを市内の保育園・幼稚園・小中学校に配布)	個所	目標値	51	51	51	51
			実績値	51	51	53	52
成果指標	相談件数	件	目標値	350	370	390	410
			実績値	531	644	786	965
	安心して子育てができ、子どもたちが健やかに生活できる相談体制の充実を図る。		目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	子どもや家庭に関する問題や不安について解決ができるよう家庭児童相談の体制強化を図っていく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	49
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	児童虐待防止対策事業	
	担当部署名	健康福祉部子育て支援課 子育て支援班	
	款項目及び予算名	3款3項1目 児童福祉総務費	新市基本計画
	予算事業名	児童虐待防止対策事業	主要事業
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 2 親と子の健やかな成長の支援	スマイルプラン スマイル2
	施策の方向性	地域の中で不安や悩みなく楽しく子育てできるよう、また子どもたちが心身ともに健やかに成長するよう、子育てに関する相談・助言等の体制の強化を図っていくとともに、身近な地域で子育て中の親同士が情報交換を行い仲間づくりができる場の提供を進めていきます。	
事業内容等	事業年度	平成17年度から実施	
	事業の実施目的及び概要	児童虐待・配偶者からの暴力・その他の家庭等における暴力が、年々増加していることから、防止及び対策に関する関係機関との連携を図り、児童虐待の発生を予防するとともに、早期発見、対応(早期対応・被虐待児のケア)による虐待件数等の減少に努める。	
	対 象	啓発については、市民。相談等については、18歳までの児童及びその保護者	
	根拠法令・関連計画 等	児童虐待の防止等に関する法律、児童福祉法	
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・会議等の実施 ・虐待防止の啓発 	代表者会議、実務者会議等を行い、関係機関との連携を図り情報を共有し支援方策の検討、適切な対応に努めることができた。 虐待防止啓発用のティッシュを地域のイベントで配布し啓発活動を行い、児童虐待についての認識を高めることができた。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)						170,000
予算現額							170,000	170,000
決算額							110,500	110,500

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	会議開催数(実務者会議等)	回	目標値	6	6	6	6
			実績値	6	4	6	12
	会議開催数(代表者)	回	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1
街頭啓発の実施	回	目標値	11	11	11	11	
		実績値	11	11	11	11	
成果指標	関係機関との連携等により、児童虐待件数等の減少に努める。		目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	会議等により関係機関の連携を強化し、児童虐待の予防及び早期発見、保護、支援に努めていく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	50
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	父親育児支援事業		
	担当部署名	健康福祉部子育て支援課 子育て支援班		
	款項目及び予算名	3款3項1目 児童福祉総務費	新市基本計画	
	予算事業名	(地方創生)父親育児支援事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 2 親と子の健やかな成長の支援	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	地域の中で不安や悩みなく楽しく子育てできるよう、また子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう、子育てに関する相談・助言等の体制の強化を図っていくとともに、身近な地域で子育て中の親同士が情報交換を行い仲間づくりができる場の提供を進めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成27年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	若い夫婦や子育て世代が比較的多いことから、ワーク・ライフ・バランスの実現による父親の育児参加を促進することで、出産・子育てのしやすい環境づくりを目指す。		
	対 象	乳幼児等を養育する保護者(父親)		
	根拠法令・関連計画 等	まち、ひと、しごと創生法		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・パパ手帳の作成 ・啓発セミナーの開催 	妊娠から子育てに至るまでの流れを解説した、父親手帳を作成し、7月から母子手帳と併せ配布した。 これから父親になる方、子育て中の方を対象に、講師を招き父親になることとし講演を行った。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)		347,000				
予算現額			347,000					347,000
決算額			288,120					288,120

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	パパ手帳発行部数	部	目標値				1,000
			実績値				613
			目標値				
			実績値				
成果指標	セミナー参加人数	人	目標値				50
			実績値				18
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	今回は7月から配布したことで目標値を下回っているが、28年度からは4月より配布することで目標に近づけるものと考えている。
成果に対する評価	D 目標値を下回る	対象を父親に絞ったが、なかなか集まらなかった。参加された方からは好評であった。
総合的な評価	D 計画を下回る事業実績・成果であった	目標値に近づけるよう内容を検討していく。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
2 事業を見直す	引き続き、父親手帳については配布を行う。 また、セミナーについては、内容、開催時期について、母子衛生部局と連携し、実施していきたい。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

事業番号	51
------	----

事業名及び担当部署等	実施計画事業名	子ども発達センター事業		
	担当部署名	健康福祉部子育て支援課 子ども発達センター		
	款項目及び予算名	3款3項5目 児童福祉施設費	新市基本計画	
	予算事業名	子ども発達センター相談事業、子ども発達センター療育事業	主要事業	
基本計画における位置付け	関連する施策名	2 - - 2 親と子の健やかな成長の支援	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	地域の中で不安や悩みなく楽しく子育てができるよう、また子どもたちが心身ともに健やかに成長するよう、子育てに関する相談・助言等の体制の強化を図っていくとともに、身近な地域で子育て中の親同士が情報交換を行い仲間づくりができる場の提供を進めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成17年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	発達障害者支援法の趣旨に基づき、発達障害を早期に見出し発達障害児の自立及び社会参加に資するよう生活全般にわたる支援を行う。また、児童福祉法に基づき、障害児に日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への支援を図る。		
	対象	0歳～就学前児		
	根拠法令・関連計画等	発達障害者支援法、児童福祉法、次世代育成支援行動計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> 巡回相談等の実施 知識啓発のための定期的な学習会の開催 発達遅れなどのある子どもへの支援 	<ul style="list-style-type: none"> 市内保育園・幼稚園の定期巡回相談を29園に対し38回、延べ120人実施した。利用児巡回相談は26園に対し33回、延べ92人実施した。また、現状把握として教育委員会指導主事と小学校17校を巡回した。 保護者支援として保護者交流会を年9回実施し、163人の参加があった。また、保護者学習会(音楽療法)を開催し、2日間で保護者延べ71人と保育園・幼稚園職員22人の参加があった。 	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)			1,314,000		2,761,000	344,000
予算現額				1,406,000		3,819,000	651,000	5,876,000
決算額				1,996,290		3,552,478	50,913	5,599,681

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	巡回相談事業回数	回	目標値	21	21	21	21
			実績値	36	23	40	71
	学習会の実施回数	回	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1
	保護者支援事業	回	目標値	12	12	12	12
			実績値	10	7	7	9
			目標値				
成果指標	巡回相談相談人数	人	目標値	150	150	150	150
			実績値	209	180	290	212
	学習会参加人数	人	目標値	50	50	50	50
			実績値	40	47	91	93
	保護者支援事業参加人数	人	目標値	240	240	240	240
			実績値	113	129	116	163
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	引き続き巡回相談等の実施及び教育や福祉関係機関との連携を図り、支援体制の充実に努める。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	52
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	地域子育て支援拠点事業		
	担当部署名	健康福祉部 子育て支援課 子育て支援班		
	款項目及び予算名	3款3項5目 児童福祉施設費	新市基本計画	
	予算事業名		主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 2 親と子の健やかな成長の支援	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	地域の中で不安や悩みなく楽しく子育てできるよう、また子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう、子育てに関する相談・助言等の体制の強化を図っていくとともに、身近な地域で子育て中の親同士が情報交換を行い仲間づくりができる場の提供を進めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成17年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	子育て家庭等に対する育児不安等についての相談指導、子育てサークル等への支援、子育てに関する情報提供や交流事業などを行い、より身近な地域で子育て不安の解消等に向けた「子育て支援」の充実に取り組む。		
	対象	乳幼児及びその保護者又は妊産婦・乳幼児(0歳児から3歳児まで)及びその保護者		
	根拠法令・関連計画等	次世代育成支援対策推進法(平成15年7月公布)・印西市次世代育成支援行動計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・中央駅前地域交流館で事業を実施(週6日開設) ・小林子育て支援センターで事業を実施(週6日開設) ・滝野子育て支援センターで事業を実施(週6日開設) ・基本事業に加え「センター型」として地域に出向いた地域支援活動を実施 ・草深ふれあい市民センター「つどいの広場」を実施(週5日) ・子どもふれあいセンターで「わくわくぼかぼか広場」を実施(週3日) ・そうふけ児童館で「こぎつねコンタの広場」を実施(週3日) ・いんば児童館で「マメタのぼんぼこ広場」を実施(週3日) 	各施設において計画どおり拠点事業を開設しており、子育てに関する情報提供や親子が楽しめる事業を行い子育て親子の交流を図ることができた	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)		15,246,000	15,246,000			15,247,000
予算現額			16,604,000	16,604,000			16,605,373	49,813,373
決算額			15,246,000	15,246,000			19,321,373	49,813,373

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	子育て支援センター施設数	箇所	目標値	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3
	地域子育て拠点事業	事業	目標値	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3
講座等実施回数	回	目標値	130	130	130	130	
		実績値	264	170	173	530	
成果指標	子育て支援センター利用者数	人	目標値	40,000	40,000	40,000	40,000
			実績値	57,909	46,569	44,455	45,465
	育児相談利用者数	人	目標値	2,400	2,600	2,800	3,000
			実績値	276	2,592	3,027	3,467
	ひろば型事業利用者数	人	目標値	15,000	15,000	15,000	15,000
			実績値	26,430	22,637	21,601	24,513

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	地域の中で不安や悩みなく楽しく子育てできるよう、子育てに関する相談・助言等の体制の強化を図っていくとともに、身近な地域で子育て中の親同士が情報交換を行い子育て親子の交流の場の提供を進めていきます。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	53
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	老人福祉センター・老人憩いの家施設運営		
	担当部署名	健康福祉部高齢者福祉課 生きがい支援班		
	款項目及び予算名	3款2項2目 高齢者福祉施設費	新市基本計画	
	予算事業名	総合福祉センター運営事務に要する経費、総合福祉センター施設管理に要する経費、中央老人福祉センター事業に要する経費、保健福祉センター運営事務に要する経費、保健福祉センター施設管理に要する経費、高花老人福祉センター事業に要する経費、そうふけ老人福祉センター事業に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - 1 高齢者の生きがいづくりの推進	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	高齢者が住み慣れた地域で健康で生きがいを持って自立した生活を営めるよう、交流の促進や就労の支援など多様な分野での社会参加を推進していきます。		
事業内容等	事業年度	昭和62年度から		
	事業の実施目的及び概要	高齢者の健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を供与するため施設の提供及び事業の展開を行う。		
	対 象	市内に居住する60歳以上の市民		
	根拠法令・関連計画 等	老人福祉法、地方自治法		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	老人福祉センター3館(中央・高花・そうふけ)、老人憩いの家1館(滝野)における各種事業の実施及び活動場所の提供	主催事業実施のほか自由来館の場を設け、高齢者同士の交流を図るとともに、サークルなどを通じ生きがいづくりの推進を図った。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					1,000	135,894,000
予算現額						1,000	177,410,000	177,411,000
決算額						124,500	125,738,869	125,863,369

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	老人福祉センター	館	目標値	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3
	老人憩いの家	館	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1
	主催事業開催日	日	目標値	150	150	150	150
			実績値	129	157	174	224
成果指標	老人福祉センター延べ利用者数	人	目標値	60,000	60,500	61,000	61,500
			実績値	60,689	59,769	39,898	50,129
	老人憩いの家延べ利用者数	人	目標値	3,000	2,800	2,800	2,800
			実績値	2,926	2,766	3,957	3,838
	主催事業参加人数	人	目標値	2,300	2,500	2,500	2,500
			実績値	3,207	3,784	3,544	1,556

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	高齢者の活動の場所を提供していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	54
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	高齢者クラブ活動推進事業		
	担当部署名	健康福祉部高齢者福祉課 生きがい支援班		
	款項目及び予算名	3款2項1目 高齢者福祉総務費	新市基本計画	
	予算事業名	高齢者クラブ活動推進事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 1 高齢者の生きがいづくりの推進	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	高齢者が住み慣れた地域で健康で生きがいを持って自立した生活を営めるよう、交流の促進や就労の支援など多様な分野での社会参加を推進していきます。		
事業内容等	事業年度	昭和39年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	高齢者の生きがい対策や健康な体の維持につなげることを目的に、高齢者クラブが高齢者の自主的活動団体として活発な活動ができるよう、指導者の育成や組織づくりの支援を行う。		
	対象	印西市高齢者クラブ会員		
	根拠法令・関連計画等	老人福祉法		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	高齢者クラブ事業活動への支援及び活動費の助成	市高連各種事業(定期事業、健康増進事業、文化教養事業、社会奉仕事業、女性部研修)実施の他、印旛地区高連事業や県老連事業へ参加し、高齢者クラブが高齢者の自主的活動団体として活発な活動ができるよう支援を行った。また、市へ貢献する為に新しい事業を行った。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計	
	平成27年度	積算額 (当初予算額)		1,994,000				3,945,000	5,939,000
		予算現額		1,994,000				3,945,000	5,939,000
		決算額		2,239,000				3,219,000	5,458,000

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	市高齢者クラブ会員数	人	目標値	3,000	2,725	2,750	2,780	
			実績値	2,703	2,713	2,474	2,458	
	高齢者クラブ活動事業数	事業	目標値	35	41	41	41	
			実績値	42	44	45	46	
	長寿印西の発行	回	目標値	4	4	4	4	
			実績値	4	4	4	4	
成果指標	総合運動会参加者数	人	目標値	1,300	1,100	1,100	1,100	
			実績値	1,030	950	960	900	
	市作品展出品者数	人	目標値	130	130	130	130	
			実績値	110	158	138	153	
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	高齢者の積極的な社会参加の場として、高齢者が健康で活動的な生活を送り、生きがいを持って地域社会の活性化を図ることができるよう今後も支援を継続していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	55
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	高齢者就労支援事業			
	担当部署名	健康福祉部介護福祉課 生きがい支援班			
	款項目及び予算名	3款2項1目 高齢者福祉総務費	新市基本計画		
	予算事業名	高齢者就労支援センター運営に要する経費、シルバー人材センター運営費補助事業	主要事業		
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 1 高齢者の生きがいづくりの推進	スマイルプラン	スマイル2	
	施策の方向性	高齢者が住み慣れた地域で健康で生きがいを持って自立した生活を営めるよう、交流の促進や就労の支援など多様な分野での社会参加を推進していきます。			
事業内容等	事業年度	平成17年度から実施、平成9年度から実施			
	事業の実施目的及び概要	高齢者の豊かな経験と知識、技能を發揮し、高齢者の生きがいと社会参加を促進するとともに、高齢者の生活の安定と生きがいの確保を目的とし、高齢者就労支援センターにおいて高齢者の就労を支援する。また、高齢者に臨時的・短期的な就業を提供するシルバー人材センターの運営を支援する。			
	対象	60歳以上の市民			
	根拠法令・関連計画等	地方自治法、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律			
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
		平成27年度	・高齢者就労支援センターの運営(指定管理者による管理運営) ・技術講習会の実施 ・研修会の実施 ・就業情報の提供 ・シルバー人材センター運営費の補助及び指導、助言	障子・網戸張替え講習会1回(2日間)、襖張替え講習会1回(3日間)、植木管理基礎講習会2回(4日間)を開催し、合計延べ人数104名の参加者があった。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	予算現額					11,572,000	11,572,000
		決算額					11,500,000	11,500,000

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	講座・講習会開催数	回	目標値	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	4
	事業受託件数	件	目標値	2,250	2,250	2,250	2,250
			実績値	2,366	2,358	2,318	2,302
成果指標	講座・講習会参加者数	人	目標値	50	50	50	50
			実績値	105	105	160	104
	受注契約金額	千円	目標値	223,080	225,000	225,000	225,000
			実績値	188,521	200,903	206,538	209,937
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	高齢者の生きがいと社会参加を促進するとともに、就労を支援していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

		事業番号	56
1. 事業の概要			
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	介護保険事業	
	担当部署名	健康福祉部 介護保険課	
	款項目及び予算名	2款1項1目施設・2款1項2目居宅・2款1項3目密着型・2款1項4目特定入所者・2款1項5目介護支援・2款1項6目審査支払・2款2項1目介護予防・2款2項2目密着型介護予防・2款2項3目介護予防支援・2款2項4目特定入所者介護予防サービス費	新市基本計画
	予算事業名	施設・居宅・密着型・特定入所者・居宅介護支援・審査支払い・介護予防・密着型介護予防・介護予防支援・特定入所者介護予防サービス給付事業	主要事業
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 2 介護・介護予防サービスの充実と地域包括ケアの推進	スマイルプラン スマイル2
	施策の方向性	高齢者が要介護状態になることを予防し、また、要介護状態になっても有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、地域包括ケア体制の構築を図りながら、ケアプランに基づいた介護サービスや介護予防、在宅福祉サービスの充実を図っていきます。	
事業内容等	事業年度	平成12年度から実施	
	事業の実施目的及び概要	加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴・排泄・食事等の介護を要する方に対して、自立した日常生活を営むことができるよう、必要なサービスの給付を行なう。	
	対 象	要介護等認定者	
	根拠法令・関連計画 等	老人福祉法・介護保険法・第6期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画	
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	各サービス給付事業(施設・居宅・密着型・特定入所者・居宅介護支援・審査支払い・介護予防・密着型介護予防・介護予防支援・特定入所者介護予防サービス)	加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴・排泄・食事等の介護を要する方に対して、これらの方がその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことが出来るよう、必要なサービスの給付を行います。各サービス給付事業(施設・居宅・密着型・特定入所者・居宅介護支援・審査支払い・介護予防・密着型介護予防・介護予防支援・特定入居者介護予防サービス)

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)	874,383,000	688,152,000		1,811,341,000	960,768,000	4,334,644,000
		予算現額	803,484,000	619,420,000		1,743,560,000	1,204,254,000	4,370,718,000
		決算額	798,941,980	616,985,919		1,718,492,141	1,208,527,174	4,342,947,214

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	介護給付費	千円	目標値	3,811,000	4,383,000	5,041,000	5,798,000
			実績値	3,398,162	3,584,171	3,786,203	4,010,692
	要介護等認定者	人	目標値	2,306	2,514	2,740	2,987
			実績値	2,364	2,498	2,618	2,706
成果指標	各サービスの利用者数	人	目標値	1,670	1,703	1,737	1,772
			実績値	1,875	1,962	2,153	2,232
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	国の動向等を注視しながら介護保険事業を継続していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	57
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	地域包括支援センター運営事業		
	担当部署名	健康福祉部高齢者福祉課 印西地域包括支援センター		
	款項目及び予算名	3款1項1目 地域支援事業費(介護保険特別会計)	新市基本計画	
	予算事業名	包括的支援事業、任意事業に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 2 介護・介護予防サービスの充実と地域包括ケアの推進	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	高齢者が要介護状態になることを予防し、また、要介護状態になっても有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、地域包括ケア体制の構築を図りながら、ケアプランに基づいた介護サービスや介護予防、在宅福祉サービスの充実を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成18年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう、地域包括支援センターの活動を通じて、高齢者に対し、ニーズや心身の状態の変化に応じた適切なサービスを包括的・継続的に提供する。		
	対象	65歳以上の高齢者及び40歳以上64歳未満の特定疾病該当者		
	根拠法令・関連計画等	介護保険法		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度		・総合相談支援事業 ・権利擁護事業 ・包括的、継続的ケアマネジメント支援事業 ・介護予防ケアマネジメント事業 ・高齢者虐待防止ネットワーク事業 ・認知症対策(オレンジプラン)推進事業	地域包括支援センターの必須事業である包括的支援事業(総合相談事業、権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント事業、介護ケアマネジメント事業)について専門職の知識と技能を生かし実施をし、相談業務については件数も目標値を上回っている。権利擁護については高齢者虐待防止ネットワーク連絡協議会により事業等について協議し、研修会等を実施した。認知症サポーター養成事業においては小学校を中心に着実に実績をあげることができた。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)	33,794,000	16,897,000		16,897,000	17,968,000	85,556,000
		予算現額	33,794,000	16,897,000		19,897,000	17,968,000	88,556,000
		決算額	27,284,000	13,642,000		13,642,000	15,823,000	70,391,000

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	総合相談支援利用者数	件	目標値	1,450	1,500	1,550	1,600
			実績値	2,285	2,469	3,067	2,959
	在宅介護支援センター運営事業(高齢者実態把握)	件	目標値	1,800	1,800	1,800	1,800
			実績値	1,665	1,702	1,504	1,629
成果指標	予防給付ケアプラン作成(要支援1又は要支援2)実人数	人	目標値	500	550	600	650
			実績値	841	532	647	828
	配食サービス実利用者数	人	目標値	95	100	105	110
			実績値	117	100	99	63
	紙おむつ給付実利用者数	人	目標値	390	410	420	430
			実績値	417	466	472	463

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	地域包括支援センターでは、介護予防ケアマネジメント、総合相談支援業務、権利擁護業務、ケアマネジメント支援に加え、認知症施策、医療と介護の連携、地域の課題を把握するため地域ケア会議の推進を図る。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	58
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	介護予防事業		
	担当部署名	健康福祉部高齢者福祉課 生きがい支援班		
	款項目及び予算名	3款1項1目 地域支援事業費(介護保険特別会計)	新市基本計画	
	予算事業名	介護予防事業に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 2 介護・介護予防サービスの充実と地域包括ケアの推進	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	高齢者が要介護状態になることを予防し、また、要介護状態になっても有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、地域包括ケア体制の構築を図りながら、ケアプランに基づいた介護サービスや介護予防、在宅福祉サービスの充実を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成18年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	各種介護予防事業を行い、要介護状態等になることを予防することにより、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続することができるように支援する。		
	対象	65歳以上の一次予防事業対象者及び二次予防事業対象者		
	根拠法令・関連計画 等	地域支援事業実施要綱(国)		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者筋力向上トレーニング事業 まるごと教室の開催 脳の健康教室の開催 二次予防事業の対象者把握 介護支援ボランティア事業 いんざい健康ちよきん運動 	65歳以上全市民(要介護・要支援認定者除く)を対象に二次予防事業の対象者把握事業を実施し事業への参加促進を図った。また各種介護予防事業に加え、地域で住民が主体的に行う「いんざい健康貯筋運動」を展開し介護予防を推進した。 ・高齢者筋力向上トレーニング事業(144回実施 延べ1,027人参加)・まるごと教室(30回実施 延べ590人参加)・(脳の健康教室 42回実施 延べ567人参加)・二次予防事業の対象者把握(15,733人実施)・介護支援ボランティア(登録者89人 受入施設等指定数15)・いんざい健康ちよきん運動(819回 延べ10,377人)	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
			平成27年度	積算額 (当初予算額)	5,723,000	2,861,000		10,162,000
		予算現額	5,723,000	2,861,000		10,253,000	4,599,000	23,436,000
		決算額	4,057,000	2,031,000		6,581,000	4,099,077	16,768,077

3. 指標及び実績値

指標内容	単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			活動指標	高齢者筋力向上トレーニング事業	回	目標値 125 実績値 115	125 116
活動指標	二次予防事業の対象者把握事業基本チェックリスト対象者	人	目標値 13,200 実績値 13,048	13,600 13,854	14,000 14,716	14,400 15,733	
			目標値 実績値				
成果指標	高齢者筋力向上トレーニング事業	延人数	目標値 900 実績値 925	900 1,037	900 1,148	900 1,027	
			目標値 9,900 実績値 8,155	9,500 8,088	9,600 8,995	9,790 9,624	
	二次予防事業の対象者把握事業基本チェックリスト実施者	人	目標値 実績値				
			目標値 実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	介護予防事業を継続し高齢者を支援していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	59
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	高齢者在宅福祉事業		
	担当部署名	健康福祉部高齢者福祉課 生きがい支援班		
	款項目及び予算名	3款2項1目 高齢者福祉総務費	新市基本計画	
	予算事業名	高齢者在宅福祉事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 2 介護・介護予防サービスの充実と地域包括ケアの推進	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	高齢者が要介護状態になることを予防し、また、要介護状態になっても有する能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、地域包括ケア体制の構築を図りながら、ケアプランに基づいた介護サービスや介護予防、在宅福祉サービスの充実を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成13年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	高齢者に対して、要支援、要介護状態に陥らず、在宅において安心して生活し健康を保持できるよう、介護予防・生活支援の観点から高齢者の家庭生活での自立を支援する。		
	対象	高齢者及び在宅高齢者を介護する家族		
	根拠法令・関連計画等	印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> 外出支援サービス事業 緊急通報装置設置等サービス 救急医療情報キット配布事業など 	介護予防、生活支援の観点から高齢者の自宅での自立を支援した。 ・ホームヘルパーサービス 延べ利用回数 244回 ・日常生活用具給付等サービス事業(緊急通報装置貸与193人/月、老人用電話貸与5人、電磁調理器給付1人) ・外出支援サービス延べ利用件数413件 ・福祉タクシー延べ利用回数764回、福祉カー貸与延べ62回 ・救急医療情報キット配布数78個	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					99,000	12,199,000
予算現額						99,000	12,235,600	12,334,600
決算額						57,340	11,021,541	11,078,881

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	外出支援サービス	円	目標値	2,180,000	2,450,000	1,910,000	1,910,000
			実績値	1,740,500	1,442,700	1,757,700	1,864,900
	日常生活用具給付等サービス	円	目標値	7,470,000	7,700,000	7,535,000	7,535,000
			実績値	6,900,063	6,916,275	7,140,366	7,043,516
成果指標	要支援、要介護状態に陥らず、在宅において安心して生活し健康を保持できるよう、高齢者の家庭生活での自立を支援する。		目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	介護予防、在宅福祉サービスの充実を図る。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	60
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	障がい福祉サービス事業		
	担当部署名	健康福祉部障がい福祉課 障がい福祉給付班		
	款項目及び予算名	3款1項2目 障害福祉費	新市基本計画	
	予算事業名	障害者自立支援給付事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 3 障がい者への生活支援の充実と社会参加の促進	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	障がい者一人ひとりの心身の状況や個別のニーズに応じた福祉サービスと福祉施設の充実を図っていくとともに、社会活動への参加や就労機会の拡大を図り、社会的、経済的な自立を推進していきます。		
事業内容等	事業年度	平成18年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	障がいのある人の福祉の増進を図ることを目的とし、障がい者及び障がい児がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障がい福祉サービスに係る給付その他の支援を行う。		
	対象	障害者総合支援法に基づく障がい者等		
	根拠法令・関連計画等	障害者総合支援法・障害者基本計画・障害福祉計画		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	・障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービスの提供 児童福祉法に基づく障がい児通所支援(児童発達支援・医療型児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援)	障がいのある人が、自ら障害福祉サービスを選択し、給付申請に基づき必要なサービスを受けることにより、自立した生活を営むことができるよう支援した。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
			平成27年度	積算額 (当初予算額)	459,734,000	229,867,000		
		予算現額	470,774,000	235,387,000			233,633,000	939,794,000
		決算額	469,120,924	235,396,551			231,551,689	936,069,164

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	居宅介護支給決定者数	人	目標値	50	50	50	50
			実績値	64	81	85	86
	生活介護支給決定者数	人	目標値	102	113	124	124
			実績値	117	134	138	146
短期入所支給決定者数	人	目標値	90	90	90	90	
		実績値	95	105	95	103	
成果指標	居宅介護利用実人数	人	目標値	41	42	48	48
			実績値	47	55	63	65
	生活介護利用実人数	人	目標値	102	113	124	124
			実績値	111	133	136	145
短期入所利用実人数	人	目標値	15	15	15	15	
		実績値	15	14	19	26	

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	引き続きこの事業を実施する。

平成27年度分 実施計画事業評価票

				事業番号	61	
1. 事業の概要						
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	地域生活支援事業				
	担当部署名	健康福祉部障がい福祉課 障がい福祉給付班				
	款項目及び予算名	3款1項2目 障害福祉費	新市基本計画			
	予算事業名	障害者自立支援給付事業	主要事業			
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - 3 障がい者への生活支援の充実と社会参加の促進	スマイルプラン	スマイル2		
	施策の方向性	障がい者一人ひとりの心身の状況や個別のニーズに応じた福祉サービスと福祉施設の充実を図っていくとともに、社会活動への参加や就労機会の拡大を図り、社会的、経済的な自立を推進していきます。				
事業内容等	事業年度	平成18年度から実施				
	事業の実施目的及び概要	障がいのある人が、その有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や障がい者の利用状況に応じて、効率的・効果的な福祉サービス事業の推進を図るとともに、コミュニケーション等におけるバリアの解消を図る。				
	対象	障害者総合支援法に基づく障がい者等				
	根拠法令・関連計画等	障害者総合支援法・障害者基本計画・障害福祉計画				
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果		
		平成27年度	・相談支援事業 意思疎通支援事業 ・日常生活用具の給付 移動支援事業 ・地域活動支援センター事業 ・障害児放課後対策事業等 ・バリアフリー化の推進	障がいのある人がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援した。		

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
平成27年度		積算額 (当初予算額)	21,358,000	10,358,000			64,315,000	96,031,000
		予算現額	36,322,603	18,164,802			51,634,503	106,121,908
		決算額	11,388,603	5,696,802			81,612,145	98,697,550

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	移動支援事業委託契約事業所数	箇所	目標値	8	8	8	8
			実績値	9	9	9	13
	日中一時支援事業委託契約事業所数	箇所	目標値	29	31	33	33
			実績値	31	27	30	34
成果指標	移動支援事業利用実人数	人	目標値	130	151	172	172
			実績値	154	93	100	104
	日中一時支援事業利用実人数	人	目標値	120	120	120	120
			実績値	160	99	108	145
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	申請人数も増加しているが、日中一時支援においては利用人数が非常に増えている。 ほぼ目標値を上回っているため、このまま継続する。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	62
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	重度心身障がい者医療費助成事業		
	担当部署名	健康福祉部障がい福祉課 障がい福祉給付班		
	款項目及び予算名	3款1項2目 障害福祉費	新市基本計画	
	予算事業名	障害者援護費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 3 障がい者への生活支援の充実と社会参加の促進	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	障がい者一人ひとりの心身の状況や個別のニーズに応じた福祉サービスと福祉施設の充実を図っていくとともに、社会活動への参加や就労機会の拡大を図り、社会的、経済的な自立を推進していきます。		
事業内容等	事業年度	昭和49年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	障がいのある人及びその家族の経済的負担の軽減を図るため、重度の身体及び知的障がいのある人等(対象者)に対する医療費等の一部を助成する。		
	対象			
	根拠法令・関連計画等	印西市重度心身障害者の医療費助成に関する条例		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	保険内治療費等の自己負担の一部を助成	重度心身障害者の医療費を助成したことにより、障がいのある人及びその家族の経済的負担の軽減を図った。(支払件数 32,003件)

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)		59,599,000			70,284,000	129,883,000
		予算現額		60,120,000			119,763,000	179,883,000
		決算額		60,120,000			74,852,672	134,972,672

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	重度心身障がい者医療費助成事業 広報掲載回数	回	目標値	1	1	1	1
			実績値	0	1	1	1
		目標値					
		実績値					
成果指標	重度心身障がい者医療費助成事業 の周知を図り、負担軽減につなげる。	目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	平成27年8月1日の制度改正により対象者を拡充しており、引き続き事業を継続する。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	63
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	難聴児補聴器購入費助成金交付事業		
	担当部署名	健康福祉部障がい福祉課 障がい福祉支援班		
	款項目及び予算名	3款1項2目 障害福祉費	新市基本計画	
	予算事業名	難聴児補聴器購入費助成金交付事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 3 障がい者への生活支援の充実と社会参加の促進	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	障がい者一人ひとりの心身の状況や個別のニーズに応じた福祉サービスと福祉施設の充実を図っていくとともに、社会活動への参加や就労機会の拡大を図り、社会的、経済的な自立を推進していきます。		
事業内容等	事業年度	平成24年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	身体障害者手帳の交付対象とならない難聴児(18歳未満・両耳の聴力レベル原則30デシベルから70デシベル)に対して、言語獲得の促進、よりよいコミュニケーションの確保を目的として、補聴器を購入する場合の購入費の一部を助成する。		
	対 象	18歳未満の両耳の聴力レベル30デシベルから70デシベル未満の者。		
	根拠法令・関連計画 等	障害者総合支援法に基づく補装具費支給制度に準じる		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	補聴器購入費の一部を助成	身体障害者手帳の交付対象とならない難聴児に対して、言語獲得の促進、よりよいコミュニケーションの確保を目的として補聴器を購入する場合の購入費の一部を助成する制度であるが、助成者はなかった。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)			100,000			100,000
予算現額				100,000			100,000	200,000
決算額				0			0	0

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	難聴児補聴器購入費助成金交付事業 広報回数	回	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	0	1
			目標値				
			実績値				
成果指標	難聴児補聴器購入費助成金制度の 周知と障がい者の負担軽減		目標値				0
			実績値				0
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	こども発達センター、保健センター、子育て支援施設等関係機関への周知を徹底していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	64
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	障がい者グループホーム運営費等補助事業		
	担当部署名	健康福祉部障がい福祉課 障がい福祉給付班		
	款項目及び予算名	3款1項2目 障害福祉費	新市基本計画	
	予算事業名	障害者援護費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 3 障がい者への生活支援の充実と社会参加の促進	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	障がい者一人ひとりの心身の状況や個別のニーズに応じた福祉サービスと福祉施設の充実を図っていくとともに、社会活動への参加や就労機会の拡大を図り、社会的、経済的な自立を推進していきます。		
事業内容等	事業年度	平成18年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	障がい者グループホーム等に運営費の補助を行い、入居者の安定したサービスの提供することにより、地域生活移行の促進を図る。また、グループホーム等に入居している障がいのある人へ家賃の一部を助成することにより、経済的負担を軽減し、もって福祉の増進を図る。		
	対象	印西市障害者グループホーム等入居者家賃助成事業実施規則第3条、印西市障害者グループホーム等運営費補助金交付要綱第2条に該当する者		
	根拠法令・関連計画等	印西市障害者グループホーム等入居者家賃助成事業実施規則、印西市障害者グループホーム等運営費補助金交付要綱		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・グループホーム等への運営費補助 ・入居する障がいのある人への家賃の一部助成	運営費の補助及び入居する障がいのある人への家賃の一部を助成することにより、経済的負担の軽減と日常生活の確保を図った。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)		9,801,000			9,804,000	19,605,000
		予算現額		9,902,000			9,907,000	19,809,000
		決算額		7,210,939			7,213,940	14,424,879

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	グループホーム等入居者数	人	目標値	34	37	40	43
			実績値	33	42	56	64
			目標値				
			実績値				
成果指標	障害者グループホーム等入居者家賃助成率	%	目標値	79	78	80	81
			実績値	97	116	66	62
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	運営費の補助及び入居する障がいのある人への家賃の一部を助成することにより、経済的負担の軽減と日常生活の確保を図る。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	65
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	障がい者(児)福祉施設整備事業		
	担当部署名	健康福祉部障がい福祉課 障がい福祉給付班		
	款項目及び予算名	3款1項2目 障害福祉費	新市基本計画	
	予算事業名	障害福祉施設整備事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 3 障がい者への生活支援の充実と社会参加の促進	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	障がい者一人ひとりの心身の状況や個別のニーズに応じた福祉サービスと福祉施設の充実を図っていくとともに、社会活動への参加や就労機会の拡大を図り、社会的、経済的な自立を推進していきます。		
事業内容等	事業年度	平成20年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	障がい者(児)福祉の増進を図るため、障がい者(児)援護施設の整備を行う社会福祉法人等に対し、補助金を交付することにより施設整備を推進する。また、障がいのある人の社会参加の促進等を図るため、障がい者支援施設等整備を推進する。		
	対象	社会福祉法人等		
	根拠法令・関連計画等	印西市障害者基本計画、印西市障害福祉計画		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	・障がい者施設整備の検討 ・補助金の交付	補助金の交付対象となる事業が無かった。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
平成27年度	平成27年度	積算額 (当初予算額)						0
		予算現額						0
		決算額						0

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	障がい者(児)福祉施設整備補助	箇所	目標値	1	1	1	1
			実績値	0	1	0	0
			目標値				
			実績値				
成果指標	障がい者(児)福祉施設整備補助	箇所	目標値	1	1	1	1
			実績値	0	1	0	0
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	D 目標値を下回る	
成果に対する評価	D 目標値を下回る	
総合的な評価	D 計画を下回る事業実績・成果であった	補助金の交付対象となる事業が無かった。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	平成28年度にグループホーム等の施設整備を予定している事業者に補助金を交付し、施設の充実を図る。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	66
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	障がい者就労支援事業				
	担当部署名	健康福祉部障がい福祉課 障がい福祉支援班				
	款項目及び予算名	3款1項2目 障害福祉費	新市基本計画			
	予算事業名	障害者自立支援給付事業	主要事業			
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 3 障がい者への生活支援の充実と社会参加の促進	スマイルプラン	スマイル2		
	施策の方向性	障がい者一人ひとりの心身の状況や個別のニーズに応じた福祉サービスと福祉施設の充実を図っていくとともに、社会活動への参加や就労機会の拡大を図り、社会的、経済的な自立を推進していきます。				
事業内容等	事業年度	昭和61年度から実施				
	事業の実施目的及び概要	雇用されることが困難な在宅の心身障がい者の社会復帰及び社会参加の促進並びに小規模福祉作業所等の福祉的就労の場を確保するため、事業の委託、運営費の補助を行う。 さらに、障がい者雇用の機会、就労先の開拓など就労支援相談員を置き、就労を目指す障がいのある人に対して支援する。				
	対象	障害者総合支援法に基づく障がい者等				
	根拠法令・関連計画等	障害者総合支援法・障害者基本計画・障害福祉計画				
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果		
		平成27年度	・地域活動支援センター(型)事業の実施(直営) ・地域活動支援センター(型)事業の支援	雇用されることが困難な在宅の障がいのある人の社会復帰及び社会参加の促進並びに福祉的就労の場を確保するため、事業の委託、運営費の補助を行った。さらに、就労支援相談員を置き、障がい者雇用の相談、就労先の開拓など、就労を目指す障がいのある人に対する支援を行った。		

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)	30,166,000	15,083,000			16,524,000	61,773,000
		予算現額	20,424,397	10,212,198			29,032,497	59,669,092
		決算額	20,424,397	10,212,198			29,032,497	59,669,092

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	地域生活支援センター 型事業所数	所	目標値	3	3	3	3
			実績値	5	5	5	5
			目標値				
			実績値				
成果指標	地域生活支援センター 型利用者数	人	目標値	24	26	27	27
			実績値	29	46	43	45
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	雇用されることが困難な在宅の障がいのある人の社会復帰及び社会参加の促進並びに小規模福祉作業所等の福祉的就労の場を確保するため、引き続き事業の委託、運営費の補助を行う。 さらに、就労支援相談員を置き、障がい者雇用の相談、就労先の開拓など、就労を目指す障がいのある人に対して引き続き支援を行う。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	67
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	(仮称)障がい者サポートセンター整備事業		
	担当部署名	健康福祉部障がい福祉課 障がい福祉給付班		
	款項目及び予算名	3款1項2目 障害福祉費	新市基本計画	
	予算事業名	障害福祉事業に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 3 障がい者への生活支援の充実と社会参加の促進	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	障がい者一人ひとりの心身の状況や個別のニーズに応じた福祉サービスと福祉施設の充実を図っていくとともに、社会活動への参加や就労機会の拡大を図り、社会的、経済的な自立を推進していきます。		
事業内容等	事業年度	平成24年度から平成27年度		
	事業の実施目的及び概要	印旛高校の跡地を活用し、主に3障がいを対象とする相談支援業務、虐待相談業務、就労相談業務のほか精神障がいのある人を対象とした自立訓練等のサポートセンターを開設する。		
	対 象			
	根拠法令・関連計画 等	障害者総合支援法・障害者基本計画・印旛高校跡地活用基本計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	実施設計	施設の解体および実施設計を行った。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計	
	平成27年度	積算額 (当初予算額)						9,975,600	9,975,600
		予算現額						9,975,600	9,975,600
		決算額						9,396,000	9,396,000

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	用地取得率	%	目標値	0	100	0	0
			実績値	0	0	100	0
	工事完了率	%	目標値	0	0	0	100
			実績値	0	0	0	0
成果指標			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	当初計画では27年度工事予定であったが、昨年度途中で改修工事ではなく解体・新設工事による見直しを行ったため、本年度は解体・新設工事の実施設計を行った。
成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	予定よりは遅れているが、着実に事業は進めている。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	平成29年度開設に向けて事業を進めていく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	68
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	健康診査事業		
	担当部署名	健康福祉部健康増進課 成人保健班		
	款項目及び予算名	4款1項5目 健康づくり推進費	新市基本計画	
	予算事業名	健康診査事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 1 健康管理体制の充実	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	疾病の予防、早期発見、適切な治療等を図るため、健康診査や母子保健対策など市民の健康を管理する体制の充実に努めています。また、市民の生命や健康を脅かす感染症、放射線問題等の危機管理対策として、拡大防止や適切な情報の提供に努めています。		
事業内容等	事業年度			
	事業の実施目的及び概要	生活習慣病対策として疾病を早期に発見し、生活習慣の改善指導および適切な治療へと結び付ける。		
	対象	39歳以下健康診査:19歳以上～39歳以下の人 40歳以上健康診査:40歳以上の生活保護受給者 肝炎ウイルス検診:40歳または41歳以上で過去に実施していない人 口腔疾患健診:40・50・60・70歳の人 骨粗しょう症検診:20・25・30・35・40・45・50・55・60・65・70歳の女性 在宅訪問歯科健診:在宅療養者		
	根拠法令・関連計画等	根拠法令等:健康増進法、印西市健康診査実施規則 関連計画:第2次健康いんざい21(印西市健康増進・食育推進計画)、印西市高齢者福祉計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・39歳以下健康診査 ・40歳以上健康診査 ・肝炎ウイルス検診 ・口腔疾患健診(40・50・60・70歳) ・骨粗鬆症検診(20～70歳の5歳刻みの女性) ・在宅訪問歯科健診	39歳以下健康診査(集団) 受診者数 858人 40歳以上健康診査(集団) 受診者数 6人 肝炎ウイルス検診(集団) 受診者数 528人 口腔疾患健診(個別) 受診者数 90人 骨粗鬆症検診(個別) 受診者数 599人 39歳以下健康診査、40歳以上健康診査、肝炎ウイルス検診は、特定健康診査と同時実施した。また、40歳の肝炎ウイルス検診対象者、口腔疾患健診及び骨粗鬆症検診の全対象者に受診券を発行し、受診率向上に努めた。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)		2,523,000			8,467,000	10,990,000
		予算現額		2,523,000			8,467,000	10,990,000
		決算額		2,082,000			7,470,628	9,552,628

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	39歳以下コスモス健康診査実施日数	日	目標値	35	35	35	35	
			実績値	34	34	34	34	
	骨粗鬆症検診実施月数	月	目標値	7	7	7	7	
			実績値	7	7	7	7	
成果指標	39歳以下コスモス健康診査受診者数	人	目標値	800	900	1,000	1,000	
			実績値	870	918	868	858	
	骨粗鬆症検診受診者数	人	目標値	470	470	500	500	
			実績値	528	471	619	599	
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
2 事業を見直す(拡大)	今後は口腔疾患健診の対象者を拡大し、若いうちから口腔管理ができるように促すとともに、各健(検)診の周知に力を入れ、受診率の向上を図る。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	69
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	がん検診事業		
	担当部署名	健康福祉部健康増進課 成人保健班		
	款項目及び予算名	4款1項5目 健康づくり推進費	新市基本計画	
	予算事業名	がん検診事業・がん検診推進事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 1 健康管理体制の充実	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	疾病の予防、早期発見、適切な治療等を図るため、健康診査や母子保健対策など市民の健康を管理する体制の充実に努めていきます。また、市民の生命や健康を脅かす感染症、放射線問題等の危機管理対策として、拡大防止や適切な情報の提供に努めていきます。		
事業内容等	事業年度			
	事業の実施目的及び概要	がん疾患などの予防を図るために検診の必要性を啓発し、受診を促すとともに、早期に発見し、適切な治療に結びつける。また、無料クーポン券、がん検診手帳の配布及び検診実施の個別通知を行い、受診率の向上を図る。		
	対象	がん検診事業 子宮頸がん検診:20歳以上の女性 乳がん検診:30歳以上の女性 胃がん検診:40歳以上 大腸がん検診:40歳以上 肺がん検診:40歳以上 前立腺がん検診:50歳以上の男性 がん検診推進事業 子宮頸がん検診:20歳の女性 乳がん検診:40歳の女性 大腸がん検診:40歳から60歳までの5歳 刻み年齢		
	根拠法令・関連計画等	健康増進法、印西市健康診査実施規則、第2次健康いんざい21(印西市健康増進・食育推進計画)、印西市高齢者福祉計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
平成27年度	・がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん・子宮頸がん・前立腺がん)の実施 ・無料クーポンの配布(子宮頸がん検診・乳がん検診・大腸がん検診)	胃がん検診(集団・個別) 受診者数 4,295人 大腸がん検診(集団) 受診者数 7,666人 肺がん検診(集団) 受診者数 5,715人 子宮頸がん検診(集団・個別) 受診者数 5,870人 乳がん検診(集団・個別) 受診者数 6,982人 子育て世代が受診しやすい環境づくりとして、乳・子宮頸がん検診の集団検診会場の一部で託児を行った。また、若い世代の子宮頸がん検診受診率向上を目指し、看護学生を対象に受診動員も含めた講話を実施した。		

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
平成27年度		予算現額	4,177,000				107,840,000	112,017,000
		決算額	1,856,000				95,556,908	97,412,908

3. 指標及び実績値

指標内容	単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			目標値	実績値	目標値	実績値
活動指標	検診集団日数	日	49	49	49	49
		実績値	48	47	47	48
	検診個別医療機関	箇所	23	24	24	24
		実績値	23	26	27	29
成果指標	子宮頸がん検診受診率	%	32	33	34	35
		実績値	30	31	29	31
	乳がん検診受診率	%	31	32	33	34
		実績値	34	38	37	42
大腸がん検診受診率	%	35	36	37	38	
	実績値	29	31	33	36	

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	今後もがん検診の受けやすい体制づくりや周知を行い、受診率の向上を図る。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	70
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	特定健診・特定保健指導		
	担当部署名	市民部国保年金課 保険給付班		
	款項目及び予算名	8款1項1目 特定健康診査等事業費	新市基本計画	
	予算事業名	特定健康診査等事業に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 1 健康管理体制の充実	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	疾病の予防、早期発見、適切な治療等を図るため、健康診査や母子保健対策など市民の健康を管理する体制の充実に努めていきます。また、市民の生命や健康を脅かす感染症、放射線問題等の危機管理対策として、拡大防止や適切な情報の提供に努めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成20年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	40歳以上75歳未満の国民健康保険加入者を対象として、特定健康診査を実施することにより、生活習慣病の原因となるメタボリックシンドロームとその予備群を早期に発見し、その健診結果に従い、生活習慣病予防に重点を置いた効果的な保健指導を実施し、被保険者の健康増進を推進する。		
	対 象	40歳以上75歳未満		
	根拠法令・関連計画 等	高齢者の医療の確保に関する法律（印西市国民健康保険特定健康診査等実施計画）		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・特定健康診査の実施 市内各会場において実施する「集団健診」及び指定医療機関で受診する「個別健診」を実施する。 ・特定保健指導の実施 健診結果により、継続支援プログラムに基づいた動機付け支援及び積極的支援を行う。	広報やホームページ等により事業を周知し、集団健診及び個別健診の受診を勧奨するとともに、対象者に特定保険指導の利用を勧奨することにより、国民健康保険被保険者の健康の増進を図った。 集団健診受診者数... 3,363人 個別健診受診者数... 1,570人 特定保険指導実施者数... 60人	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計	
	平成27年度	積算額 (当初予算額)		9,019,000	9,019,000			25,570,000	43,608,000
		予算現額		9,245,000	9,245,000			27,615,000	46,105,000
		決算額		9,256,000	9,245,000			24,593,190	43,094,190

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	特定健診受診者数	人	目標値	5,789	5,936	6,000	6,000	
			実績値	4,480	4,604	4,673	4,933	
	特定保健指導終了者数	人	目標値	220	230	220	220	
			実績値	89	122	136	60	
	成果指標	特定健診の受診率	%	目標値	40	40	40	40
				実績値	30.3	30.0	30.0	31.4
特定保健指導の実施率		%	目標値	25	25	25	25	
			実績値	12.9	21.0	23.0	14.4	
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	受診者数及び指導終了者数を増加させる取組みについて検討が必要。
成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	受診率及び指導実施率を向上させる取組みについて検討が必要。
総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	目標値の設定について、県平均、同規模自治体との比較を行い、検討する。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	特定健診の必要性の周知及び特定保健指導に参加したいと思う魅力的な内容にしていく必要がある。多くの機会を捉えて情報提供を行い、健康づくりの意識が高まっていくように取り組んでいく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	71
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	人間ドック等受検費用補助事業		
	担当部署名	市民部国保年金課 保険給付班		
	款項目及び予算名	8款2項1目 保健衛生普及費	新市基本計画	
	予算事業名	保健衛生普及事務に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 1 健康管理体制の充実	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	疾病の予防、早期発見、適切な治療を図るため、健康診査や母子保健対策など市民の健康を管理する体制の充実に努めていきます。また、市民の生命や健康を脅かす感染症、放射線問題等の危機管理対策として、拡大防止や適切な情報の提供に努めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成16年度から実施(平成22年度から人間ドック検査助成を開始)		
	事業の実施目的及び概要	人間ドック及び脳ドックの受検費用の一部を助成し、疾病の早期発見及び早期治療による健康の増進、医療費の削減を図る。		
	対象	1年以上継続して国民健康保険加入している40歳以上の者で国民健康保険税を完納している世帯に属する者(特定健康診査受診者は除く)		
	根拠法令・関連計画等	印西市国民健康保険人間ドック及び脳ドック検査助成金交付要綱		
	平成27年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	・人間ドック及び脳ドック受検費用の一部助成 補助率..受検費用の1/2補助(補助限度額:人間ドック3万円、脳ドック2万円) ・広報・ホームページでの周知	広報やホームページ等により事業を周知し、人間ドック及び脳ドックの受検者に費用の一部助成を受ける人の増加を目指したことにより、国民健康保険被保険者の健康の増進及び医療費の削減を図った。 人間ドック受検者数... 596人 脳ドック受検者数... 187人 平成27年度の脳ドック受検者数は、脳ドック単独受検者のほかに、人間ドックとともに脳ドックを受検した者の人数を記載		

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)						13,237,000
予算現額							20,820,000	20,820,000
決算額							17,583,100	17,583,100

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	広報による周知	回	目標値	1	1	1	1	
			実績値	3	3	3	3	
	ホームページ掲載	回	目標値	1	1	1	1	
			実績値	1	1	1	1	
成果指標	受給者数	人	目標値	370	400	400	400	
			実績値	386	525	623	641	
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	広報やホームページ等により事業を周知し、人間ドック及び脳ドックの受検者に費用の一部助成を受ける人の増加したことにより、国民健康保険被保険者の健康の増進及び医療費の削減が図れるので今後も継続していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	72
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	乳幼児健診事業(母子保健事業)		
	担当部署名	健康福祉部健康増進課 母子保健班		
	款項目及び予算名	4款1項4目 母子衛生費	新市基本計画	
	予算事業名	乳幼児健診事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 1 健康管理体制の充実	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	疾病の予防、早期発見、適切な治療等を図るため、健康診査や母子保健対策など市民の健康を管理する体制の充実に努めていきます。また、市民の生命や健康を脅かす感染症、放射線問題等の危機管理対策として、拡大防止や適切な情報の提供に努めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成9年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	幼児期に各健診を実施し、成長発達に問題のある児を早期発見し、適切な指導及び措置を行い、健康の保持増進を図る。また、保護者の支援として健診票に設けた保護者用の質問項目を活用し、育児について相談しやすい環境を整備する。		
	対象	1歳6か月児健康診査:1歳6~7か月児とその親 2歳児歯科健診:2歳5~7か月児とその親 3歳児健康診査:3歳5~7か月児とその親		
	根拠法令・関連計画等	母子保健法、次世代育成支援対策推進法、第2次健康いんざい21(印西市健康増進・食育推進計画)、次世代育成支援行動計画		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度		・1歳6か月健診 ・2歳児歯科健診 ・3歳児健診	・1歳6か月健診 31回実施 対象者990人受診者938人受診率94.7% ・2歳児歯科健診 30回実施 対象者927人受診者863人受診率93.1% ・3歳児健診 32回実施 対象者967人受診者921人受診率95.2%

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		予算現額					6,611,000	6,611,000
		決算額					6,558,532	6,558,532

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1歳6か月児健康診査実施回数	回	目標値	28	28	28	28
			実績値	28	28	29	31
	2歳児歯科健診実施回数	回	目標値	25	28	28	28
			実績値	25	28	29	30
	3歳児健康診査実施回数	回	目標値	30	30	30	30
			実績値	30	30	34	32
成果指標	1歳6か月児健康診査受診率	%	目標値	95	95	95	95
			実績値	96	93	98	95
	2歳児歯科健診受診率	%	目標値	95	95	95	95
			実績値	91	89	91	93
	3歳児健康診査受診率	%	目標値	90	90	90	90
			実績値	91	92	95	95

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	微増傾向にある健診対象者に対して1会場当たり30人程度を想定して開催しており、今後も対象人数から算定した開催数にしていく。
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	受診率については各健診共に横ばい傾向。保育園通園児については、保護者の都合が合わず、未来所になることも多く、未来所児の把握に力を入れている。
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	各健診における年間の実施回数・受診率共にほぼ計画通りであるが、健診未受診者に対する対応も併せて行っており、実施体制としては安定している。内容としては、来所した子どもの保護者が満足感につながるような取り組みが市民から望まれていると考える。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	「健やか親子21(第2次)(H27~)」に虐待予防の観点から面接時の視点が追加され、児の疾病の予防、早期発見等に合わせて養育者の「子どもの育てにくさ」に寄り添った面接の場が今後も必要である。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

事業番号	73
------	----

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	出産育児支援事業(母子保健事業)		
	担当部署名	健康福祉部健康増進課 母子保健班		
	款項目及び予算名	4款1項4目 母子衛生費	新市基本計画	
	予算事業名	出産育児支援事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 1 健康管理体制の充実	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	疾病の予防、早期発見、適切な治療等を図るため、健康診査や母子保健対策など市民の健康を管理する体制の充実に努めています。また、市民の生命や健康を脅かす感染症、放射線問題等の危機管理対策として、拡大防止や適切な情報の提供に努めています。		
事業内容等	事業年度			
	事業の実施目的及び概要	妊娠、出産育児に向け母子共に健康な生活が送れるよう援助し、また不安を解決できるための相談や仲間づくりを支援する。さらに、次世代育成支援として、思春期保健対策を併せて行っていく。		
	対象	妊産婦・新生児・乳幼児		
	根拠法令・関連計画等	母子保健法第13条規定、子ども・子育て支援法、第2次健康いんざい21(印西市健康増進・食育推進計画)・子ども・子育て支援事業計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> 妊婦、乳児健康診査の実施 プレママクラス、パバママクラスの開催 母子健康手帳の交付 訪問指導の実施(妊産婦、新生児、乳幼児等特に新生児期から4か月児まで全戸訪問) 4か月児相談・もぐもぐ、かみかみ教室の開催 子どもガイドブックの発行 多胎児支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> 妊婦、乳児健康診査の実施(妊婦14回/人、乳児2回/人) プレママクラス 年6回実80・延228人、パバママクラスの開催 年6回実延とも101組202人 母子健康手帳の交付 714件(双子13件を含むため、妊娠届出数は701件) 訪問指導の実施(妊産婦、新生児、乳幼児等 特に新生児期から4か月児まで全戸訪問を目標に実施。産婦対象者709件・訪問実施数669人、4か月未満児対象者714人・訪問実施数674人) 4か月児相談 年31回、もぐもぐ、かみかみ教室の開催各々年21回・18回 子どもガイドブックの発行 出生者708冊、転入者454冊 多胎児支援事業 ふたごの会11回実施 	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度		積算額 (当初予算額)	1,237,000	1,237,000		35,000	76,106,000
		予算現額	1,237,000	1,237,000		35,000	76,106,000	78,615,000
		決算額	934,000	934,000		33,000	69,569,659	71,470,659

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	もぐもぐ・かみかみ教室 実施回数	回	目標値	もぐもぐ18、かみかみ15	もぐもぐ18、かみかみ15	もぐもぐ18、かみかみ15	もぐもぐ18、かみかみ15
			実績値	もぐもぐ18、かみかみ15	もぐもぐ20、かみかみ17	もぐもぐ22、かみかみ15	もぐもぐ21、かみかみ18
	プレママクラス実施回数	回	目標値	7	7	7	7
			実績値	7	6	6	6
	パバママクラス実施回数	回	目標値	6	6	6	6
			実績値	6	6	6	6
成果指標	もぐもぐ・かみかみ教室 参加人数	人	目標値	もぐもぐ360、かみかみ300	もぐもぐ360、かみかみ300	もぐもぐ360、かみかみ300	もぐもぐ360、かみかみ300
			実績値	もぐもぐ265、かみかみ238	もぐもぐ257、かみかみ215	もぐもぐ283、かみかみ232	もぐもぐ272、かみかみ361
	プレママクラス参加者数	人	目標値	140	140	140	140
			実績値	103	96	98	80
	パバママクラス参加数	組	目標値	120	120	120	120
			実績値	98	106	103	101

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	事業ごとに対象者数を考慮し計画通りに開催されている。
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	妊娠届出701件中、初妊婦が256人(届出全体の36.5%)で、土曜日開催のパバママ参加の割合が約4割であった。平日実施のプレママクラスは、4回1コースとして仲間づくりを進めており、参加者が通って参加する傾向が多くなり、同窓会参加者も増加していることから、今後も行政の実施する教室の目的を仲間づくりを重点にしている。
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	もぐもぐ・かみかみ教室では、子どもの発達個人差が顕著に出るかみかみ教室の参加が増加しており、離乳食を通じて育児支援が必要とされている。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選理理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	プレママクラスについては、今後もアンケート結果等を活用し魅力ある内容にしつつ、同窓会を活用しながら仲間づくりをすすめる。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	74
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	予防接種事業		
	担当部署名	健康福祉部健康増進課 母子保健班		
	款項目及び予算名	4款1項2目 予防費	新市基本計画	
	予算事業名	予防接種事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 1 健康管理体制の充実	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	疾病の予防、早期発見、適切な治療等を図るため、健康診査や母子保健対策など市民の健康を管理する体制の充実に努めています。また、市民の生命や健康を脅かす感染症、放射線問題等の危機管理対策として、拡大防止や適切な情報の提供に努めています。		
事業内容等	事業年度			
	事業の実施目的及び概要	予防接種法に基づき、予防接種の知識の普及や意識の向上に努め、予防接種を主体的、計画的に接種することにより、感染症予防を図る。		
	対象	BCG(生後3か月～1歳未満)、Hib(生後2か月～5歳未満)・小児肺炎球菌(生後2か月～5歳未満)、DPT(生後3か月～7歳6か月未満)、単独不活化ポリオ(生後3か月～7歳6か月未満)、4種混合(生後3か月～7歳6か月未満)、MR1期(1歳～2歳未満)・2期(就学前且つ5歳～7歳未満)、日本脳炎1期(3歳～7歳6か月未満、特例対象者)・2期(9歳～13歳未満・特例対象者)、DT(11歳～13歳未満)、子宮頸がんワクチン(中学生・高校1年生)、高齢者インフルエンザ(65歳以上、60歳～64歳は内臓疾患障害者手帳一級に値する者)、高齢者肺炎球菌(65歳以上、60歳～64歳は内臓疾患障害者手帳一級に値する者1回限り)		
	根拠法令・関連計画等	予防接種法、第2次健康いんざい21(印西市健康増進・食育推進計画)		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・予防接種の実施 個別接種 4種混合、単独不活化ポリオ、BCG、DPT、MR(1期・2期)、日本脳炎、DT、高齢者インフルエンザ、Hib、小児肺炎球菌、高齢者肺炎球菌、子宮頸がん、水痘 ・啓発活動の強化	市内医療機関及び県内相互乗り入れ医療機関にて実施。接種率は、4種混合 97.1%、単独不活化ポリオ 7.0%、BCG 99.7%、DPT 0.1%、MR(1期 94.9%・2期 97.1%)、日本脳炎(1期 100%、2期 74.2%)、DT 87.3%、高齢者インフルエンザ 58.7%、Hib 101.6%、小児肺炎球菌 101.5%、高齢者肺炎球菌 58.4%、子宮頸がん 0.5%、水痘 102.6% 高齢者肺炎球菌未接種者への個別通知1月に実施。その他、広報及び市ホームページにて随時啓発。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度		積算額 (当初予算額)					244,774,000
		予算現額					244,774,000	244,774,000
		決算額					211,328,089	211,328,089

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	麻しん予防接種率 (MR1期)	%	目標値	95	95	95	95
			実績値	92	98	95	95
	麻しん予防接種率 (MR2期)	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	101	103	91	97
	高齢者インフルエンザ接種率	%	目標値	70	70	70	70
			実績値	60	60	61	59
成果指標	麻しん発生件数	件	目標値	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	高齢者インフルエンザ接種率は4年間ほぼ横ばい傾向である。同予防接種は、定期接種(B類疾病)として個人の罹患予防に位置づけられており、強制はできないことから、接種の重要性について啓発していく必要がある。
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	麻しんに関しては、集団発生がみられないことから、今後もより一層MR接種の徹底について健診等の場で啓発を継続していく。
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	定期予防接種のうち、B類の高齢者インフルエンザ・高齢者肺炎球菌については、接種率が向上するよう未接種者の接種勧奨を継続していく。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	予防接種事業については、予防接種法等に定められているものであり、今後も継続実施していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	75
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	結核検診事業		
	担当部署名	健康福祉部健康増進課 成人保健班		
	款項目及び予算名	4款1項2目 予防費	新市基本計画	
	予算事業名	結核検診事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 1 健康管理体制の充実	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	疾病の予防、早期発見、適切な治療等を図るため、健康診査や母子保健対策など市民の健康を管理する体制の充実に努めています。また、市民の生命や健康を脅かす感染症、放射線問題等の危機管理対策として、拡大防止や適切な情報の提供に努めています。		
事業内容等	事業年度			
	事業の実施目的及び概要	結核予防及び結核患者に対する適切な医療の普及を図る。また、胸部疾患の早期発見・早期治療につなげる。		
	対象	40歳以上		
	根拠法令・関連計画等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、印西市健康診査実施規則、第2次健康いんざい21(印西市健康増進・食育推進計画)、印西市高齢者福祉計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・結核とその胸部疾患の予防、早期発見・早期治療 ・胸部レントゲン撮影(40歳以上の者)	結核検診(集団) 受診者数 5,715人	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度		積算額 (当初予算額)					6,442,000
		予算現額					6,442,000	6,442,000
		決算額					6,133,180	6,133,180

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	結核検診日数	日	目標値	25	25	25	25
			実績値	25	26	26	26
	広報・PR	回	目標値	5	5	5	5
			実績値	2	4	5	6
成果指標	受診率	%	目標値	32	33	34	35
			実績値	26	26	26	27
	結核検診受診者数	人	目標値	6,000	6,100	6,300	6,500
			実績値	5,394	5,573	5,409	5,715
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	今後も検診の周知に力を入れ、受診率の向上を図る。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	76
------	----

1. 事業の概要

事業名及び担当部署等	実施計画事業名	健康危機管理対策事業		
	担当部署名	健康福祉部健康増進課 総務班		
	款項目及び予算名	4款1項2目 予防費	新市基本計画	
	予算事業名	健康危機管理対策事業	主要事業	
基本計画における位置付け	関連する施策名	2 - - 1 健康管理体制の充実	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	疾病の予防、早期発見、適切な治療等を図るため、健康診査や母子保健対策など市民の健康を管理する体制の充実に努めていきます。また、市民の生命や健康を脅かす感染症、放射線問題等の危機管理対策として、拡大防止や適切な情報の提供に努めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成18年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	食中毒、医薬品被害等、その他なんらかの原因により、市民の生命、健康を脅かす事態やその可能性のある事態に対する情報収集を行い、健康被害の発生の予防、拡大防止を図る。 また、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき策定した、新型インフルエンザ等対策行動計画を基に、新型インフルエンザ等の発生に備え、感染対策等を推進する。 その他、地震等による大規模な災害発生に備え、情報収集・提供機能の強化、要援護者等への支援、被災者の健康管理対策等の構築を図る。		
	対象	市民		
	根拠法令・関連計画等	千葉県健康危機管理基本指針、印西市地域防災計画、印西市新型インフルエンザ等対策行動計画		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	・感染症予防 ・食中毒、医薬品被害等、毒物劇物等の対策 ・災害時保健医療体制の整備 ・健康危機管理予防対策(啓発等) ・AED(自動体外式除細動器)設置の促進	市ホームページで、デング熱等の感染症について、注意喚起を行った。また、新型インフルエンザや震災等に備えるため、アルコール手指消毒液等を備蓄した。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	予算現額					379,000	379,000
		決算額					376,206	376,206

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	AED(自動体外式除細動器の購入)【機器更新含む】	台	目標値	70	73	74	75
			実績値	68	69	71	72
			目標値				
			実績値				
成果指標	AED(自動体外式除細動器)の市内設置箇所数【民間含む】	台	目標値	69	72	73	74
			実績値	79	92	98	108
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	感染症等の危機管理対策として、拡大防止や適切な情報の提供に努めるとともに、市内各施設のAED設置を推進する。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	77
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	放射線問題対策事業		
	担当部署名	環境経済部環境保全課 ほか		
	款項目及び予算名	4款1項7目 環境保全費	新市基本計画	
	予算事業名	放射線対策事務に要する経費 他	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 1 健康管理体制の充実	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	疾病の予防、早期発見、適切な治療を図るため、健康診査や母子保健対策など市民の健康を管理する体制の充実に努めていきます。また、市民の生命や健康を脅かす感染症、放射線問題等の危機管理対策として、拡大防止や適切な情報の提供に努めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成23年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	東日本大震災に伴う東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質による汚染について、市民への適切な情報提供や除染作業等を実施し、市民の健康管理体制の充実に努めます。		
	対象	市民		
	根拠法令・関連計画等	放射性物質汚染対処特別措置法、子ども・被災者支援法、印西市放射性物質除染実施計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・大気中放射線量の測定及び結果の公表 ・農産物の放射性物質測定及び結果の公表 ・給食食材の放射性物質測定検査及び結果の公表 ・その他、放射性物質汚染対策に関する業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・大気中の放射線量測定、農産物・給食食材の放射性物質測定についても、定期的に測定し、公表することができた。 	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					1,022,000	1,022,000
		予算現額					1,022,000	1,022,000
		決算額					835,956	835,956

3. 指標及び実績値

指標内容	単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			目標値	実績値	目標値	実績値
活動指標	計画に基づいた除染の実施	校数・園数	90	50	0	0
			89	23	0	0
	大気中放射線量の測定(延べ)	回	24	24	12	2
			21	20	12	2
成果指標	除染数	校数・園数	90	50	0	0
			89	23	2	0

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	放射線量の測定を各施設管理者が実施した。平成27年度末時点で、基準値を超える空間放射線量は確認されていない。
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	本市は環境省より汚染状況重点調査地域に指定されているが、同地域の解除の要件は、除染が完了していること、除去土壌の処分が完了していること及び空間放射線量が基準値未満であることとされている。この解除要件のうち、除染の完了及び空間放射線量が基準値未満であることは満たしているが、除去土壌の処分は放射性物質汚染対処特別措置法において処分方法等が定められていないため、本市では除染実施施設内に保管している状況である。 そのため、同地域の解除までは、除去土壌の保管状況の確認及び各施設の放射線量の測定等を定期的に測定するとともに、基準値を超える放射線量を確認した場合においては、必要に応じた対応を実施することとなる。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	78
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	保健対策推進事業		
	担当部署名	健康福祉部健康増進課 総務班		
	款項目及び予算名	4款1項5目 健康づくり推進費	新市基本計画	
	予算事業名	健康づくり推進協議会に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 2 健康づくりの推進	スマイルプラン	
	施策の方向性	「自分の健康は自分でつくる」という理念に基づき、市民一人ひとりが健康づくりについて学び、考え、実践する環境づくりを進めていきます。また、食育や歯の健康づくりなどへの取り組みも関係機関や団体と連携しながら強化していきます。		
事業内容等	事業年度	平成16年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	健康の維持、増進を推進するため、「第2次健康いんざい121(印西市健康増進・食育推進計画)」に基づき、健康づくりの実施体制の充実・健康づくり意識の高揚を図り、これらの啓発・普及に努める。		
	対象	市民		
	根拠法令・関連計画等	健康増進法、食育基本法、第2次健康いんざい121(印西市健康増進・食育推進計画)		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進協議会の運営 健康講演会の実施 健康情報コーナーの充実 献血事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進協議会を開催(2回)し、「第2次健康いんざい121～印西市健康増進・食育推進計画～」の進行管理を行った。 健康情報コーナー等を活用し、健康づくりの普及啓発を行った。 市役所、産業まつり会場及びイオン千葉NTで街頭献血を実施し、多くの方の協力が得られた。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					1,067,000	1,067,000
		予算現額					1,067,000	1,067,000
		決算額					897,168	897,168

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	該当献血実施回数	回	目標値	70	70	70	70	
			実績値	77	70	66	78	
	献血実施を広報で啓発	回	目標値	6	6	6	6	
			実績値	8	7	5	6	
成果指標	献血の目標達成率	%	目標値	100	100	100	100	
			実績値	127	108	103	102	
	献血目標(市役所)	人	目標値	345	350	350	350	
			実績値	439	378	359	356	
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	引き続き、健康づくりの実施体制の充実・健康づくり意識の高揚を図り、これらの啓発・普及に努める。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	79
------	----

1. 事業の概要

事業名及び担当部署等	実施計画事業名	健康づくり事業		
	担当部署名	健康福祉部健康増進課 印旛班		
	款項目及び予算名	4款1項5目 健康づくり推進費	新市基本計画	
	予算事業名	健康づくりセンター運営事業に要する経費	主要事業	
基本計画における位置付け	関連する施策名	2 - - 2 健康づくりの推進	スマイルプラン	
	施策の方向性	「自分の健康は自分でつくる」という理念に基づき、市民一人ひとりが健康づくりについて学び、考え、実践する環境づくりを進めていきます。また、食育や歯の健康づくりなどへの取り組みも関係機関や団体と連携しながら強化していきます。		
事業内容等	事業年度	平成15年度から実施(健康づくりセンター)		
	事業の実施目的及び概要	医師、運動指導士等による健康チェック(問診、体力測定)を行い、個人の目的に適した運動プログラムを作成後、実践することによって運動習慣を身につけると共に生活習慣病の予防を図る。		
	対象	15歳以上の市民(健康づくりセンター) 35歳以上の市民(ヘルスアップ教室)		
	根拠法令・関連計画等	印西市健康づくりセンター設置及び管理に関する条例、印西市健康づくりセンター設置及び管理に関する条例施行規則、健康増進法、第2次健康いんざい21(印西市健康増進・食育推進計画)		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・健康づくりセンターの運営 ・健康づくり教室(腰痛予防体操、シェイプアップ教室など)の実施 ・減量コース、体力測定の実施 ・ヘルスアップ教室の実施	健康づくりセンターの運営により、利用者のニーズに対応した健康づくり教室を実施した。 ・腰痛予防体操(231人)・ストレッチ(2,056人)・シェイプアップ教室(261人)・バランストレーニング(376人)・その他教室(4,020人)・利用者講習会(134人)	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額(当初予算額)					8,337,000	15,821,000
予算現額						8,337,000	15,821,000	24,158,000
決算額						6,846,780	12,434,047	19,280,827

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	健康づくり教室開館日数	日	目標値	293	293	293	293
			実績値	292	293	291	291
	センター開館日数	日	目標値	293	293	293	293
			実績値	292	293	291	291
成果指標	健康づくり教室(延べ人数)	人	目標値	6,300	6,400	6,500	6,600
			実績値	6,854	7,029	7,033	6,944
	利用者数(延べ人数)	人	目標値	15,000	15,000	15,500	16,000
			実績値	14,733	15,902	16,161	17,455
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	市民が自ら健康増進を図るための手段として運動は必要であり、今後も運動習慣が身につくように支援していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	80
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	健康支援事業		
	担当部署名	健康福祉部健康増進課 成人保健班		
	款項目及び予算名	4款1項5目 健康づくり推進費	新市基本計画	
	予算事業名	健康支援事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 2 健康づくりの推進	スマイルプラン	
	施策の方向性	「自分の健康は自分でつくる」という理念に基づき、市民一人ひとりが健康づくりについて学び、考え、実践する環境づくりを進めていきます。また、食育や歯の健康づくりなどへの取り組みも関係機関や団体と連携しながら強化していきます。		
事業内容等	事業年度			
	事業の実施目的及び概要	「自分の健康は自分でつくる」という健康増進の理念に基づき、市民が健康づくりに取り組めるよう支援し、健康づくりの知識の普及や意識の高揚を図り、健康の保持・増進を図る。		
	対象	全市民		
	根拠法令・関連計画等	健康増進法、第2次健康いんざい21(印西市健康増進・食育推進計画)、印西市高齢者福祉計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・出前健康講座の開催 ・メタボリックシンドローム予防教育の実施 ・健康教育の実施(健(検)診時、依頼健康教育等) ・相談の実施(健康づくり、栄養、歯科) ・訪問指導の実施 ・健康手帳の交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前健康講座 35回 760人 ・依頼健康教育 4回 38人 ・その他健康教育 116回 4,614人 ・健康相談(定期・随時等) 222回 239人 ・電話相談 441人 ・訪問指導 実28人 延34人 ・健康手帳 新規発行 44冊 	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)			40,000		15,000	81,000
予算現額				40,000		15,000	81,000	136,000
決算額				80,427		5,500	41,682	127,609

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	集団健康教育の開催数	回	目標値	90	90	95	95
			実績値	117	113	151	155
	健康相談実施回数 (電話相談以外)	回	目標値	270	270	280	280
			実績値	229	174	407	222
成果指標	集団健康教育の参加延人員	人	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000
			実績値	3,867	3,737	4,550	5,412
	健康相談の利用者数 (電話相談以外)	人	目標値	1,300	1,350	1,400	1,450
			実績値	323	244	463	239
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	教育については今後も出前講座の内容を充実させたり、各種健康教室を企画し、実施する。また健康について気軽に相談できる機会を継続的に設けていく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	81
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	地区健康推進員活動事業		
	担当部署名	健康福祉部健康増進課 成人保健班		
	款項目及び予算名	4款1項5目 健康づくり推進費	新市基本計画	
	予算事業名	地区健康推進員活動事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 2 健康づくりの推進	スマイルプラン	
	施策の方向性	「自分の健康は自分でつくる」という理念に基づき、市民一人ひとりが健康づくりについて学び、考え、実践する環境づくりを進めていきます。また、食育や歯の健康づくりなどへの取り組みも関係機関や団体と連携しながら強化していきます。		
事業内容等	事業年度	平成7年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	保健センターと協働で市民の健康をサポートする為に、様々な事業を企画・運営する。 ヘルスセミナーは、広く健康情報を市民に発信し健康意識を高めます。その中で、地区健康推進員の活動に賛同する方に委嘱をし、地区推進員の仲間作りを推進する。		
	対 象	地区健康推進員、ヘルスセミナー受講生		
	根拠法令・関連計画 等	健康増進法、印西市地区健康推進員設置要綱、第2次健康いんざい21（印西市健康増進・食育推進計画）		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスセミナー開催（地区健康推進員養成講座） ・自主地区、対話活動の推進 ・研修会（運動・栄養・休養）の実施 ・元気な食卓記事の広報掲載 ・親子食育教室 ・食育の推進 ・介護予防 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスセミナー開催2回 延31人 ・自主グループ活動 10回 参加市民数延180人 ・いんざい広報「元気な食卓」掲載（12ヶ月） ・活動PR 産業まつりへの参加 ・依頼事業 8事業への協力 市民参加数延246人 ・全体研修会7回 参加推進員数延197人 	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					7,000	803,000
予算現額						7,000	803,000	810,000
決算額						15,400	635,195	650,595

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	ヘルスセミナー参加者数(延人数)	人	目標値	70	70	75	75
			実績値	75	95	49	31
	地区健康推進員主催事業実施回数	回	目標値	21	24	28	28
			実績値	22	20	11	10
	対話活動実施回数	回	目標値	168	175	180	185
			実績値	408	724	516	574
成果指標	推進員委嘱承諾人数	人	目標値	10	10	12	12
			実績値	10	6	6	9
	地区健康推進員実施事業への市民参加者数	人	目標値	100	100	150	150
			実績値	188	184	366	426
	対話活動実施人数	人	目標値	300	320	340	360
			実績値	1,525	2,822	516	574

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	D 目標値を下回る	平成26年度からヘルスセミナー開催数が減少しているため、それに伴い参加者数が減少した。また、地区健康推進員数が年々減少しているため、それに伴い活動回数が減少した。
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	継続した市民への対話活動や活動周知により、実施事業への市民参加数が年々多くなっていると思われる。
総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	多くの市民に健康意識を深めてもらえるよう活動内容を検討していきたい。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
2 事業を見直す	今後も地区健康推進員の得意分野を活かして、「自分や家族の健康に役立てられること」を軸に、現在の推進員数で活動可能な内容を検討していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	82
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	食育推進事業		
	担当部署名	健康福祉部健康増進課 成人保健班		
	款項目及び予算名	4款1項5目 健康づくり推進費	新市基本計画	
	予算事業名	食育推進事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 2 健康づくりの推進	スマイルプラン	
	施策の方向性	「自分の健康は自分でつくる」という理念に基づき、市民一人ひとりが健康づくりについて学び、考え、実践する環境づくりを進めていきます。また、食育や歯の健康づくりなどへの取り組みも関係機関や団体と連携しながら強化していきます。		
事業内容等	事業年度	平成18年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	生涯にわたって健全な食生活を実践することができるよう、関係者間の食育活動の連絡調整を実施し、伊西市食育推進計画を推進する。		
	対象	全市民		
	根拠法令・関連計画等	食育基本法、食育推進基本計画、第2次健康いんざい21(伊西市健康増進・食育推進計画)、次世代育成支援行動計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> 食育推進計画の進行管理及び課題の抽出 食育講演会の実施 栄養士調整会の開催 野菜いっぱい食育レシピの作成・配布 乳幼児健診・相談事業の実施 食育に関する講話の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 食育推進計画の進行管理及び課題の抽出 食育推進計画ダイジェスト版の教育等での周知 食育講演会の実施 栄養士調整会の継続実施 野菜いっぱい食育レシピの作成・配布 乳幼児健診・相談事業の実施 食育に関する講話の実施 	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)		16,000		53,000	272,000	341,000
		予算現額		16,000		53,000	272,000	341,000
		決算額		13,333		44,500	280,232	338,065

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	食育推進計画の説明回数	回	目標値	20	20	40	40
			実績値	33	21	42	33
	栄養バランスの良い食生活に関する講話の実施回数	回	目標値	35	35	40	40
			実績値	34	22	45	49
野菜の摂取量や地場農産物の普及に関する講話の実施回数	回	目標値	35	35	40	40	
		実績値	34	22	45	49	
成果指標	食育推進計画の説明人数	人	目標値	500	500	1,000	1,000
			実績値	801	622	1,559	1,415
	栄養バランスの良い食生活に関する講話の実施人数	人	目標値	1,050	1,050	1,100	1,100
			実績値	1,559	622	1,687	1,623
野菜の摂取量や地場農産物の普及に関する講話の実施人数	人	目標値	1,050	1,050	1,100	1,100	
		実績値	1,559	622	1,687	1,623	

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	次年度以降も引き続き、食育推進の実施体制の充実をはかり、食育推進計画の重点課題の啓発・普及に努め、実践に結び付けていく。なお、平成28年度は、食育講演会を大人の食育教室と名称を変更し、より身近な実践的な内容で実施する。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	83
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	歯科保健事業		
	担当部署名	健康福祉部健康増進課 母子保健班		
	款項目及び予算名	4款1項5目 健康づくり推進費	新市基本計画	
	予算事業名	歯科保健事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 2 健康づくりの推進	スマイルプラン	
	施策の方向性	「自分の健康は自分でつくる」という理念に基づき、市民一人ひとりが健康づくりについて学び、考え、実践する環境づくりを進めていきます。また、食育や歯の健康づくりなどへの取り組みも関係機関や団体と連携しながら強化していきます。		
事業内容等	事業年度			
	事業の実施目的及び概要	市民が生涯を通して、自分の歯で食事ができることにより健康な身体が保てるよう「8020運動」を推進し、口腔衛生の正しい習慣を普及させ、歯科疾患予防の充実に図る。		
	対 象	歯みんぐ・カミング・8020:市民 高齢者のよい歯のコンクール:80歳以上で20本以上自分の歯がある者 親と子のよい歯のコンクール:前年度の3歳児健診を受診しむし歯のなかった児とその親 その他依頼のあった市内の保育園、幼稚園、小・中学校、支援センター、児童館など		
	根拠法令・関連計画等	第2次健康いんざい21(印西市健康増進・食育推進計画)、歯と口腔の健康づくり推進条例		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・高齢者のよい歯のコンクールの開催 ・親と子のよい歯のコンクールの開催 ・歯科保健啓発作文、標語の募集 ・歯科保健啓発事業(イベント)の実施 ・歯科保健専門部会の開催	・高齢者のよい歯のコンクール 1回 ・親と子のよい歯のコンクール 1回(上記と同時開催) ・歯科保健啓発作文、標語の募集1回(広報、市ホームページで募集) ・歯科保健啓発事業(イベント「歯みんぐ・カミング・8020」)の実施 1回・1,114人参加 ・歯科保健専門部会の開催 2回	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)			141,000			670,000
予算現額				141,000			670,000	811,000
決算額				138,240			616,773	755,013

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	健康教育実施の回数	回	目標値	48	48	50	50
			実績値	79	86	86	100
	啓発イベントの実施	回	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1
成果指標	3歳児健診で虫歯がない児の割合	%	目標値	83	83	83	83
			実績値	87	89	85	83
	啓発イベントの来場者数	人	目標値	500	500	500	500
			実績値	1,164	634	742	1,114
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	歯科についての健康教育を保育園・幼稚園・子育て支援センター・小学校・中学校・介護予防教室・出前講座等への実施が定着しており、今後も増加傾向にある。一方で平成28年度歯科衛生士数が2人から1人になり、今後の活動に支障が出てきている。
成果に対する評価	A 目標値を上回る	3歳児健診での虫歯がない児の割合はほぼ横ばいであるが、啓発イベントへの参加者数が増加していることから、子どもから高齢者までを対象に今後も歯科保健の啓発に努めていく。
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	引き続き、市民が生涯をとおして、自分の歯で食事ができることにより健康な身体が保てるよう「8020運動」を推進するためのイベント実施するとともに、歯科衛生士が対向いての健康教育をとおして、口腔衛生の正しい習慣を普及させ、歯科疾患予防の充実に図る。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	84
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	地域医療推進事業		
	担当部署名	健康福祉部健康増進課 総務班		
	款項目及び予算名	4款1項1目 保健衛生総務費	新市基本計画	
	予算事業名	地域医療推進事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	2 - - 3 医療体制の充実	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	病気や事故の際に適切に対応や処置が行えるよう、救急医療体制の確保を図っていくとともに、市民一人ひとりがかかりつけ医等を持つよう啓発していきます。また、医療施設の誘致や医療機関の連携強化の促進など本市の医療体制の強化に努めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成18年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	誰もが必要に応じ、安心して受診できる医療体制を確立するため、医療機関の整備・充実を図る。また、休日・夜間における救急医療をはじめ、多様な市民ニーズに対応出来るよう、医療機関など、関係機関との連携体制を構築する。		
	対象	市民		
	根拠法令・関連計画等	医療法、印西市医療整備基本構想、第2次健康いんざい21(印西市健康増進・食育推進計画)		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・かかりつけ医等の推奨 ・医療体制の整備 ・救急医療機関への財政支援	三次救急医療機関である日本医科大学千葉北総病院等に対し補助金を交付し三次救急医療体制の強化を図った。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					22,132,000	22,132,000
		予算現額					22,132,000	22,132,000
		決算額					22,070,000	22,070,000

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	小児初期急病診療所の周知	回	目標値	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	12
	かかりつけ医等の啓発	回	目標値	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	12
成果指標	市内の病院数	機関	目標値	3	4	4	4
			実績値	3	3	3	3
	市内の診療所数(医科)	機関	目標値	33	33	34	36
			実績値	34	38	37	38
	市内の診療所数(歯科)	機関	目標値	34	34	34	34
			実績値	35	36	37	37

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	引き続き、救急医療体制の確保を図っていくとともに、医療機関の連携強化の促進など本市の医療体制の充実に努める。